京都芸術大学附属高等学校

2024 年度シラバス 1 年生用

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 現代の国語	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	『新編 現代の国語』（東京書籍）				
副教材	『新編 現代の国語　学習課題ノート』（東京書籍）				

授業の概要・目的
評論・随筆を通して作者の考え方や意見を正確に読み取り、自身の意見との相違を考える授業です。他者の意見を取り入れ、精査することで、自らの知見を深めることを目的としています。また、多様な表現や語彙を学ぶことで、表現力の習得を目指します。

到達目標
・他者の意見を正確に読み取ることができる。 ・言葉による見方・考え方を働かせることができる。 ・言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

履修にあたって
「現代の国語」では主に評論を取り扱っていきます。「評論」と聞くと難しいと思うかもしれませんが、随時作品の内容や読み取り方を授業内で行うので安心してください。作者の意見や考え方のみならず、同じ作品を読んだ授業参加者同士の受け取り方の相違を通して、知見を深めていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	福岡伸一　「ルリボシカミキリの青」
第2回	石田英敬　「未来をつくる想像力」
第3回	港千尋　　「無彩の色」
第4回	村上信夫　「鍋洗いの日々」
第5回	高階秀爾　「美しさの発見」
第6回	鷲田清一　「真の自立とは」
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	福岡伸一　「ルリボシカミキリの青」	第16回	
第2回	石田英敬　「未来をつくる想像力」①	第17回	
第3回	石田英敬　「未来をつくる想像力」②	第18回	
第4回	港千尋　　「無彩の色」	第19回	
第5回	試験対策	第20回	
第6回	村上信夫　「鍋洗いの日々」	第21回	
第7回	高階秀爾　「美しさの発見」	第22回	
第8回	鷲田清一　「真の自立とは」①	第23回	
第9回	鷲田清一　「真の自立とは」②	第24回	
第10回	試験対策	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 歴史総合	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	歴史総合（実教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
「歴史総合」では、18世紀から現代までの近現代史を対象として、300年にわたる「世界とそのなかの日本」を学びます。目的は二つあります。一つは、世界と日本との深いつながりを学ぶことです。もう一つは、歴史がつねに動いていることを知ることです。世界がどのような変遷をへて今日に至ったかを考えることは、世界がこれからどこに向かっていくのかを考えることでもあります。歴史を通して、「世界とそのなかの日本」を学ぶことが「歴史総合」です。

到達目標
世界と日本における近現代の歴史の変化に関わるできごとや現象の意味を見出したり、価値に気づいたりすることができるようになる。

履修にあたって
中学校までの地理や歴史の知識がなくても問題ありません。知識を身につけることも大切ですが、歴史上のできごとや現象の意味や価値をクラスの友達と話し合いながら考察することに重点を置いています。歴史が得意な人・好きな人だけでなく、どちらかというと苦手な人や好きではない人も充実できる内容を考えています。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第１編　近代化と私たち
第2回	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち①
第3回	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち②
第4回	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち③
第5回	第３編　グローバル化と私たち①
第6回	第３編　グローバル化と私たち②
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第１編　近代化と私たち①	第16回	
第2回	第１編　近代化と私たち②	第17回	
第3回	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち①	第18回	
第4回	授業振り返り	第19回	
第5回	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち②	第20回	
第6回	第２編　国際秩序の変化や大衆化と私たち③	第21回	
第7回	第３編　グローバル化と私たち①	第22回	
第8回	第３編　グローバル化と私たち②	第23回	
第9回	第３編　グローバル化と私たち③	第24回	
第10回	授業振り返り	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 地理総合	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	地理総合（東京書籍）				
副教材	基本地図帳（二宮書店）				

授業の概要・目的
地球上で起こっているさまざまなことを空間的な広がりとのかかわりでとらえ、そうした地理的事象にはどのような規則性や傾向性がみられるのか、多角的な視点から考える授業です。多様な地域について学ぶことで、現代の社会に生きる一人の人間として必要な知識を身につけます。また、地理的事象を学習する中で、単なる暗記学習にとどまらない「思考力」の習得を目指します。

到達目標
・日本と世界の諸地域について学び、それぞれの特徴が説明できる。 ・地図を効果的に活用することができる。 ・地図や統計資料などの情報を正しく読み取り、それらの情報を自ら活用することができる。

履修にあたって
地図が苦手で都道府県や世界地図が全然分からないという人でも安心してください。地理で大切なことは「暗記すること」ではなく「与えられた情報をどう扱うか」です。地図や統計情報などをたくさん読んで、観察力と情報を扱う力を磨きましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	地図や地理情報システムでとらえる現代世界①
第2回	地図や地理情報システムでとらえる現代世界②
第3回	国際理解と国際協力
第4回	さまざまな地球的課題と国際協力①
第5回	さまざまな地球的課題と国際協力②
第6回	自然環境と防災
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	″地図や地理情報システムでとらえる現代世界① 地図や地理情報システムの役割″	第16回	
第2回	″地図や地理情報システムでとらえる現代世界① 資料から読み取る現代社会″	第17回	
第3回	″地図や地理情報システムでとらえる現代世界② 私たちが暮らす世界″	第18回	
第4回	″地図や地理情報システムでとらえる現代世界② 地図の活用″	第19回	
第5回	試験対策授業	第20回	
第6回	国際理解と国際協力① 生活文化と自然環境	第21回	
第7回	国際理解と国際協力② さまざまな地球的課題と国際協力(1)	第22回	
第8回	国際理解と国際協力③ さまざまな地球的課題と国際協力(2)	第23回	
第9回	持続可能な地域づくりと私たち	第24回	
第10回	試験対策授業	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学Ⅰ	単位数	3　　単位	区分	必修
教科書	新数学Ⅰ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
基礎的な内容から定着を図り、日常的な数学の現象，コミュニケーションを踏まえて総合的に理解する力を身に着ける。 数と式，2次関数，三角比及びデータの分析について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

到達目標
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。

履修にあたって
数学は復習が大切な科目です。授業後は復習を怠らずに反復演習に努めてください。中学までの数学が苦手な人や，授業よりも難しい演習に取り組みたい人は，すららの動画等をうまく活用してください。授業中，小テストを実施する場合もあります。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】3回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	1章　数と式　1節　文字と式　2節　実数
第2回	1章　数と式　3節　方程式と不等式
第3回	2章　2次関数 1節　2次関数とそのグラフ
第4回	2章　2次関数 2節　2次関数の値の変化
第5回	5章　集合と論証
第6回	4章　データの分析
第7回	3章　三角比　1節　鋭角の三角比
第8回	3章　三角比　2節　三角比の応用
第9回	3章　三角比　2節　三角比の応用
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章　数と式　1節　整式(1)	第16回	3章　三角比　2節　三角比の応用(2)
第2回	1章　数と式　1節　整式(2)	第17回	
第3回	1章　数と式　2節　実数(1)	第18回	
第4回	1章　数と式　2節　実数(2)	第19回	
第5回	1章　数と式　3節　方程式と不等式(1)	第20回	
第6回	1章　数と式　3節　方程式と不等式(2)	第21回	
第7回	2章　2次関数 1節　2次関数とそのグラフ(1)	第22回	
第8回	2章　2次関数 1節　2次関数とそのグラフ(2)	第23回	
第9回	5章　集合と論証(1)	第24回	
第10回	5章　集合と論証(2)	第25回	
第11回	4章　データの分析(1)	第26回	
第12回	4章　データの分析(2)	第27回	
第13回	3章　三角比　1節　鋭角の三角比(1)	第28回	
第14回	3章　三角比　1節　鋭角の三角比(2)	第29回	
第15回	3章　三角比　2節　三角比の応用(1)	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 科学と人間生活	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	科学と人間生活（東京書籍）				
副教材	ニューサポート　科学と人間生活（東京書籍）				

授業の概要・目的

自然に対する理解や科学技術の発展が日常生活や社会に与えた影響と、それらが果たしてきた役割について、科学の様々な分野を通して学習する。
科学と人間生活の学習を通して、ものごとを科学的な見方で捉えることや、ものごとに対して科学的な考察ができるようになることを目指す。
科学と人間生活の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標

〈生命の科学〉生物の遺伝子について理解する。微生物の利用について説明できる。
〈物質の科学〉日常生活で使われている物質とその再利用について理解する。衣料や食品に含まれる物質の性質や用途の違いを理解する。
〈光や熱の科学〉光の性質とその法要について理解する。運動と熱の関係を物質的に説明することができる。
〈宇宙や地球の科学〉時間と天体の動きを知り、太陽系における地球がどのような惑星か説明できる。地球における地殻変動を理解し、地殻変動が引き起こす現象について説明できる。

履修にあたって

人類は太古の時代から自然と共に生きてきました。時に自然の恩恵を受けながら、時に人類の力が及ばない自然現象にさらされながら生きてきたのです。人類が自然に対する知識や理解を深め自然の仕組みを解明し利用してきたことを学びながら、日常生活を科学の視点から共に学んでいきましょう。

観点別評価

知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	身近にある科学
第2回	生命の科学
第3回	物質の科学
第4回	光や熱の科学
第5回	宇宙や地球の科学
第6回	総復習（生物・化学・物理・地学）
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	微生物とその利用	第16回	第１０回～第１5回の授業内容の復習
第2回	ヒトの生命現象	第17回	
第3回	第１回～第２回の授業内容の復習	第18回	
第4回	材料とその再利用	第19回	
第5回	衣料と食品	第20回	
第6回	第４回～第５回の授業内容の復習	第21回	
第7回	生命の科学の観察実験	第22回	
第8回	物質の科学の観察実験	第23回	
第9回	第１回～第８回の授業内容の復習	第24回	
第10回	光の性質とその利用	第25回	
第11回	熱の性質とその利用	第26回	
第12回	第１０回～第１１回の授業内容の復習	第27回	
第13回	太陽と地球	第28回	
第14回	自然景観と自然災害	第29回	
第15回	光や熱の科学の観察実験	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	単位数	3　単位	区分	必修
教科書	All Aboard! English Communication Ⅰ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて、情報を収集したりクラスメイトとコミュニケーションをとったりすることによって、多様なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語でやりとりをしたり、発表したり、書いたりする能力を身につける。

到達目標
教科書の内容をもとに、クラスメイトとコミュニケーションを取りながら、多様なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語でやりとりをしたり、発表したり、書いたりする能力を身につける。

履修にあたって
○準備物 筆記用具 ○授業・レポート・テストについて ４技能（聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと）を授業やレポートで運用能力を高めていきましょう。テストでは、話すこと以外の練習の成果をはかっていきます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】12回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Pre-lesson 1,2 Lesson 1 Breakfast around the World
第2回	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas
第3回	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku
第4回	Lesson 4 A Miracle Mirror
第5回	Lesson 5 Learning from the Sea
第6回	Reading 1 Short Stories in English Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period
第7回	Lesson 7 A Diary of Hope
第8回	Lesson 8 A Door to a New Life Lesson 9 Fighting Plastic Pollution
第9回	Lesson 10 Pigs from across the Sea Reading 2 The Wizard of Oz
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W-UP １年間の英語学習について Pre-Lesson 1,2・自己紹介など	第16回	Lesson 6 アウトプット（Retelling）
第2回	Lesson 1　インプット（Reading）	第17回	Lesson 7 インプット（Reading）
第3回	Lesson 1　アウトプット（Retelling）	第18回	Lesson 7 アウトプット（Retelling）
第4回	Lesson 2 インプット（Reading）	第19回	Lesson 8 インプット（Reading）
第5回	Lesson 2 アウトプット（Retelling）	第20回	Lesson 8 アウトプット（Retelling）
第6回	Lesson 3 インプット（Reading）	第21回	Lesson 9 インプット（Reading）
第7回	Lesson 3 アウトプット（Retelling）	第22回	Lesson 9 アウトプット（Retelling）
第8回	Lesson 4 インプット（Reading）	第23回	Lesson 10 インプット（Reading）
第9回	Lesson 4 アウトプット（Retelling）	第24回	Lesson 10 アウトプット（Retelling）
第10回	Lesson 5 インプット（Reading）	第25回	Lesson 6～10振り返り授業
第11回	Lesson 5 アウトプット（Retelling）	第26回	試験対策講座
第12回	Lesson 1～5振り返り授業	第27回	
第13回	試験対策講座	第28回	
第14回	後期の授業について	第29回	
第15回	Lesson 6 インプット（Reading）	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 体育Ⅰ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	スポーツルール2024				

授業の概要・目的

スポーツを通じてモノの見方・考え方を働かせ、生涯にわたって実践できる豊かなスポーツライフを理解するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
学習過程から「想像力（他者を思いやるこころ）」と「想像力（新しいものを生み出す力）」の育成を目指す。

到達目標

1. 運動・スポーツを通じて他者とコミュニケーションが取れるようになる。
2. 下記内容を説明することができる。
・スポーツの歴史的発展と多様な変化
・現代のスポーツの意義や価値
・スポーツの経済的効果と高潔さ
・スポーツが環境や社会にもたらす影響

履修にあたって

スポーツは人間の産物です。私たちはスポーツを当たり前のように行っていますが、実は様々な要素によって構成されています。そして、それは私たちが生きている社会と密接にかかわっているのです。
では、スポーツはどのように始まり、どのように発展して今日に至っているのでしょうか。
スポーツを通して身体を動かす楽しさを学ぶとともに、私たちの社会を考えてみましょう。

観点別評価

知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】10回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	・体操服（運動・スポーツができる格好） ・体育館シューズ **※それぞれ指定はありません**

レポート	
回	内容
第1回	第1章　運動・スポーツの発祥と発展　１スポーツの発祥と成立～３オリンピック・パラリンピックと国際社会　スポーツ種目（バドミントン）
第2回	第1章　運動・スポーツの発祥と発展　４スポーツの経済効果とスポーツ産業～６持続可能性から見たスポーツと環境　スポーツ種目（バレーボール）
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	体つくり運動	第16回	オリンピック・パラリンピックと国際社会
第2回	バドミントン	第17回	スポーツの経済効果とスポーツ産業
第3回	バドミントン	第18回	スポーツに求められる高潔さ
第4回	バドミントン	第19回	持続可能性から見たスポーツと環境
第5回	バドミントン	第20回	これまでの振り返り
第6回	バドミントン	※授業の進行状況や体育館の利用状況により変更になる場合あり	
第7回	バドミントン	第22回	
第8回	スポーツの発祥と成立	第23回	
第9回	スポーツ文化の発展と現代社会	第24回	
第10回	バレーボール	第25回	
第11回	バレーボール	第26回	
第12回	バレーボール	第27回	
第13回	バレーボール	第28回	
第14回	バレーボール	第29回	
第15回	バレーボール	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 保健Ⅰ	単位数	1　単位	区分	必修
教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
保健の見方・考え方を働かせて、課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、障害を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指す。 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 障害を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

到達目標
健康的な生活行動を理解し、身近な健康問題に関心をもち、問題解決ができるようにする。

履修にあたって
健康問題や社会の変化とともに、私たちの健康の捉え方や健康問題への対策のあり方も変化してきました。 健康をどのように捉えられ、どのように過ごせばよいのでしょうか。 多様な視点から県央を考えて、皆さんの生活に役立てましょう。

観点別評価	
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】1回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第1章　現代社会と健康　１日本における健康課題の変遷～１７精神疾患への対応
第2回	第1章　現代社会と健康　１日本における健康課題の変遷～１７精神疾患への対応
第3回	第2章　安全な社会生活　１事故の現状と発生要因～６日常的な応急手当
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	現代社会と健康	第16回	
第2回	現代社会と健康	第17回	
第3回	安全な社会生活	第18回	
第4回	これまでの振り返り	第19回	
第5回		第20回	
第6回		第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 美術Ⅰ	単位数	2　　単位	区分	1学年履修指定
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
幅広い創造活動や作品鑑賞を通して美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。 自然や自己、生活などを見つめて主題を生成し、意図に応じて表現方法を創意工夫することで、主題を追求して創造的に表す。また、対話型鑑賞を通じて美術作品などの見方や感じ方を深める。

到達目標
生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

履修にあたって
この授業は、作品のみでの採点は行ないません。 作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。 中学までの美術に苦手意識がある人も、安心して受講してください。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	材料費なし 色鉛筆を各自持参してください メーカーの指定はありません

レポート	
回	内容
第1回	デザイン　色の調子と分類
第2回	デザイン　色の整理と配色
第3回	デザイン　色のイメージ①
第4回	絵画　メッセージをカタチに
第5回	絵画　色のイメージ②
第6回	絵画　色のイメージ③
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション	第16回	鑑賞　対話型鑑賞　美術Ｉまとめ
第2回	鑑賞　対話型鑑賞	第17回	
第3回	レポート課題取り組みのポイント①	第18回	
第4回	レポート課題取り組みのポイント②	第19回	
第5回	デザイン　色の調子と分類①	第20回	
第6回	デザイン　色の整理と配色①	第21回	
第7回	絵画　感情と色彩①	第22回	
第8回	絵画　感情と色彩②	第23回	
第9回	デザイン　色の調子と分類②	第24回	
第10回	デザイン　色の整理と配色②	第25回	
第11回	鑑賞　対話型鑑賞　作家研究①	第26回	
第12回	鑑賞　対話型鑑賞　作家研究②	第27回	
第13回	鑑賞　映像メディア①	第28回	
第14回	鑑賞　映像メディア②	第29回	
第15回	単位認定試験対策	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 情報Ⅰ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	新編情報Ⅰ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的

多くの情報に囲まれた現代社会においては、必要な情報を選択し、その真偽を判断し、最適な行動を選択できる情報活用能力をはじめ、問題解決のために主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとする態度や創造性が必要です。
これらの力を身に付けるための知識と技術の習得を目指した学習を行います。

到達目標

・自らの生活・学習において、主体的な情報活用ができる。
・情報や情報技術の仕組み、あるいは情報の取り扱い方に関する基本的な理論や方法、仕組みを理解する。
・情報や情報技術が果たしている役割、及ぼす影響を理解し、情報の正しい扱い方を判断できる。

履修にあたって

みなさんは、「情報」ときいて、どんなイメージをもっていますか？なぜ、すべての高校生が「情報Ⅰ」を学ぶようになったのでしょうか？
10年後もいきいきと社会に参画していくためには、情報を適切かつ効果的に活用して，問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくための「情報活用能力」を身に着けることが大切です。
スクーリングでは、第１章～第４章の実践編にあたる第５章の内容をみなさんと活動しながら学べるように計画しています。レポートでは、教科書の内容を読み進めながら自分のペースで計画的に回答していきましょう。

観点別評価

知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第1章　情報で問題を解決する
第2回	第2章　情報を伝える
第3回	第3章　コンピュータを活用する
第4回	第4章　データを活用する
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ、アイデアの大量生産(P118、1章P10)	第16回	
第2回	作ろう！マイルール(P121、1章P12)	第17回	
第3回	光の三原色体験(P123、2章P44)	第18回	
第4回	データ量の見積もり(P124、2章P40)	第19回	
第5回	ピクトグラム(P125、2章P48)	第20回	
第6回	図解表現(P125、2章P48)	第21回	
第7回	webニュースページ（P128、2章P48)	第22回	
第8回	気まぐれAI(P132、3章P74)	第23回	
第9回	お知らせセンサ(P134、3章P62)	第24回	
第10回	シミュレーション(P137、3章P80)	第25回	
第11回	パケット通信の体験(P140、4章P140)	第26回	
第12回	データの分析(P141、4章P104)	第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 総合Ⅰ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	なし				
副教材	なし				

授業の概要・目的
実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て情報を収集し、整理分析して自分の意見を生み出す力を養う授業です。 課題に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身につけましょう。

到達目標
対話的な様々な課題に取り組む中で、探求の見方・考え方を働かせ、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を身につけることを目標とします。

履修にあたって
この授業では「コミュニケーション」をテーマとして扱っていきます。 今、コミュニケーションに対して苦手な印象を持っている人もいるかも知れませんね。 ただ、受講に際してそれは問題ありません。 様々な活動を通じて、一緒に「よりよいコミュニケーション」について考えていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	コミュニケーション（対話）について
第2回	コラボレーション（協働）について
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	情報カード①	第16回	第13～15回の振り返り
第2回	情報カード②	第17回	情報カード④
第3回	コミュニケーション①	第18回	コミュニケーション⑤
第4回	第1～3回の振り返り	第19回	コラボレーション⑥（アイデア）
第5回	コラボレーション①（コンセンサス）	第20回	最終レポート課題対策
第6回	コミュニケーション②	第21回	
第7回	コラボレーション②（コンセンサス）	第22回	
第8回	第5～7回の振り返り	第23回	
第9回	コミュニケーション③	第24回	
第10回	コラボレーション③（コンセンサス）	第25回	
第11回	コラボレーション④（アイデア）	第26回	
第12回	第9～11回の振り返り	第27回	
第13回	コラボレーション⑤（コンセンサス）	第28回	
第14回	情報カード③	第29回	
第15回	コミュニケーション④	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 国語基礎	単位数	1　　単位	区分	1学年履修指定
教科書	なし				
副教材	なし				

授業の概要・目的
ICT教材『すらら』を利用し、「国語の文法」を基礎から学ぶ。 一文の成り立ちから学ぶことによって、文章の読み書きの力を育む。

到達目標
中学校までの国語に苦手意識を持たずに、作品読解に向き合えるようになる。 国語の文法の基礎を習得し、短い感想文を書けるようになる。

履修にあたって
この科目は、1年生の履修指定科目です。 文章を読み書きする力は、国語という枠を越えてあらゆる教科や、実生活でも必要な力です。文章の読み書きに苦手意識を持っている人こそ、楽しんで受けてもらいたい科目です。 ICT機器（タブレット）を使用しての授業に不安を感じる人もいるかもしれませんが、先生が近くにいるので安心してください。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】1回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	すらら教材費　1,000円

レポート	
回	内容
第1回	主語・述語・修飾語
第2回	決まったつながり方をする言葉・助詞・いろいろな表現
第3回	文を書いてみよう
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	主語・述語	第16回	
第2回	修飾語	第17回	
第3回	決まったつながりをする言葉	第18回	
第4回	１～３回のまとめ	第19回	
第5回	助詞	第20回	
第6回	いろいろな表現を学ぶ	第21回	
第7回	一文のほね組みをつかむ	第22回	
第8回	４～６回のまとめ	第23回	
第9回	一文の重要ポイント	第24回	
第10回	正しい文を書く	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学基礎	単位数	1　　単位	区分	1学年履修指定
教科書	なし				
副教材	なし				

授業の概要・目的
「一次方程式」「平方根」「三平方の定理」について，動画教材「すらら」の内容を利用することで，定義や公式の本質的な理解と，プリント演習及び「すらら」のドリル機能を用いて，計算技能の習熟を図る。

到達目標
すららから出題される小テストの正答率７割以上を目指す。

履修にあたって
授業で使用する動画教材「すらら」は，自宅でもパソコンやタブレットがあれば視聴可能です。 授業だけで技能の定着は難しいですので，積極的に家庭で復習し，「すらら」のドリルにて何度も演習してみましょう。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】1回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	すらら教材費　1,000円

レポート	
回	内容
第1回	一次方程式（ステージ3）
第2回	平方根（ステージ7　および　H_Stage0 Lesson7）
第3回	三平方の定理（ステージ17）
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション／正負の数	第16回	
第2回	一次方程式(1)	第17回	
第3回	一次方程式(2)	第18回	
第4回	平方根(1)	第19回	
第5回	平方根(2)	第20回	
第6回	平方根(3)	第21回	
第7回	三平方の定理(1)	第22回	
第8回	三平方の定理(2)	第23回	
第9回	数学Ｉの復習(1)	第24回	
第10回	数学Ｉの復習(2)	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 英語基礎	単位数	1　　単位	区分	1学年履修指定
教科書	なし				
副教材	なし				

授業の概要・目的
ICT教材『すらら』を利用し、「英語の文法」「英語の表現」を基礎から学ぶ。 中学校で学習する英文法及び英語表現について理解を深め、高校での英語学習に必要な基礎を確立する。

到達目標
英語の文法の基礎を習得し、簡単な英語の文章を読めるようになる。 必修科目である「英語コミュニケーションⅠ」と合わせて、英文の読解及び英語での表現に挑戦する態度を身につける。

履修にあたって
英語の文法の基礎を習得し、簡単な英語の文章を読めるようになる。 必修科目である「英語コミュニケーションⅠ」と合わせて、英文の読解及び英語での表現に挑戦する態度を身につける。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	すらら教材費　1,000円

レポート	
回	内容
第1回	Be動詞、一般動詞、文型と品詞のまとめ
第2回	句、節のまとめ
第3回	比較、仮定法、特殊構文のまとめ
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	すららの使い方・１年間の学習について	第16回	
第2回	stage1（Be動詞）／stage2（一般動詞）	第17回	
第3回	stage1（文型と品詞）	第18回	
第4回	stage2（句・不定詞）	第19回	
第5回	stage2（句・動名詞、分詞）	第20回	
第6回	stage3（節）	第21回	
第7回	stage4（比較法）	第22回	
第8回	stage5（仮定法）	第23回	
第9回	stage6（特殊構文）	第24回	
第10回	すらら学習のまとめ	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

京都芸術大学附属高等学校

2024 年度シラバス 2 年生用

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 言語文化	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	『新 言語文化』（三省堂）				
副教材	『新 言語文化　学習課題ノート』（三省堂）				

授業の概要・目的
古典・近代の作品を通して、日本の言語文化に対する理解と認識を高める授業です。現在とは違う表現の仕方や語彙を学びつつも、現代にも通じる当時の人々の考えや心情をくみ取ることを目的としています。また、古典・近代の作品の言い回しや表現に親しむことを目指します。

到達目標
・日本の言語文化に対する理解と認識を高める。 ・古典作品や他言語文学作品を通して、言語の根底に流れる文化・価値観の相違を客観的に理解する。 ・他者を理解しつつ、主体的に考え、伝え合う言語活動を通して、国語の力を育成する。

履修にあたって
「言語文化」では、古典（古文・漢文）・近代の作品を取り扱っていきます。特に古典の分野に関しては、苦手意識が先行すると思いますが、しっかりポイントを押さえていきましょう。また、読みなれない文章だからこそ、予習として音読することを推奨します。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	【古文】『枕草子』「ありがたきもの」
第2回	【漢文】故事「虎の威を借る」
第3回	【現代文】芥川龍之介『羅生門』
第4回	【古文】『伊勢物語』「芥川」
第5回	【漢文】『説苑』「景公之馬」
第6回	【現代文】ティム・オブライエン「待ち伏せ」
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	『枕草子』「ありがたきもの」	第16回	
第2回	故事「虎の威を借る」	第17回	
第3回	芥川龍之介『羅生門』	第18回	
第4回	試験対策	第19回	
第5回	『伊勢物語』「芥川」	第20回	
第6回	『説苑』「景公之馬」	第21回	
第7回	ティム・オブライエン「待ち伏せ」	第22回	
第8回	試験対策	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 公共	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	公共（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
「公共」での学びをとおして、世の中のすべての人々が希望をもって安心して暮らせる社会をつくるために、私たちに何ができるかを考えていきます。

到達目標
現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の定着を目指します。

履修にあたって
現代社会にはたくさんの課題が存在します。そしてこれらの課題に直面した時に課題を解決することは難しい、関わることは難しいと感じることがあったと思います。授業では、そのような現代社会の課題に対して当事者意識をもって積極的にかかわっていけるように楽しく有意義な学びを展開していきます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第一部　「公共」のとびら 第2章　公共的な空間における人間としての在り方生き方－共に生きるための倫理
第2回	第3章　公共的な空間における基本的原理―私たちの民主的な社会
第3回	第二部　自立した主体として社会に参画する私たち 第1章　民主政治と私たち
第4回	第3章　経済社会で生きる私たち
第5回	第4章　私たちの職業選択
第6回	第5章　国際社会のなかで生きる私たち
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第一部　第2章　公共的な空間における人間としての在り方生き方	第16回	
第2回	第3章　公共的な空間における基本的原理 第二部　第1章　民主政治と私たち	第17回	
第3回	第1・2回授業振り返り	第18回	
第4回	第3章　経済社会で生きる私たち 第4章　私たちの職業選択	第19回	
第5回	第5章　国際社会のなかで生きる私たち	第20回	
第6回	第4・5回授業振り返り	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 生物基礎	単位数	2　　単位	区分	2学年履修指定
教科書	新編生物基礎（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　生物基礎（東京書籍）				

授業の概要・目的

生物基礎では、生物や生物現象にかかわる基礎的な内容ついて学習する。
〈生物の特徴〉〈遺伝子とそのはたらき〉〈生物の体内環境の維持〉〈免疫〉〈植生〉〈生物の多様性と生態系〉
生物について学ぶことで、生物の一員である我々ヒトについての理解を深める。「細胞」「組織」「個体」「生態系」という階層性を意識して学ぶことで、生物学を大小様々な視野で捉えることができるようになることを目指す。
生物基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標

生物学の基礎的な知識を習得し、生物の共通性と多様性を理解する。
生物とそれを取り巻く環境を学ぶことでで、その繋がりを理解する。
授業で学んだことを活かし、細胞から生態系まで、大小さまざまな視野で生物学を捉えることができる。
授業で学んだことを活かし、「生物とは何か」について、自分なりの考えを持つことができる。

履修にあたって

私たち人間も生物の一種です。
生物とそれを取り巻く環境を学ぶことで、生物とは何か、動物とは何か、ヒトとは何かの答えにより近づくことができるでしょう。
私たちヒトを含めた生物が「生きている」ということとはどのようなことなのか、共に学んでいきましょう。

観点別評価

知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス	
回	内容
第1回	生物の特徴
第2回	遺伝子とそのはたらき
第3回	生物の体内環境の維持
第4回	免疫
第5回	植生
第6回	生物の多様性と生態系
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	生物の多様性と共通性	第16回	全体を通しての授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り
第2回	生物とエネルギー	第17回	
第3回	第1回～第2回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第18回	
第4回	生物と遺伝子	第19回	
第5回	遺伝情報とタンパク質合成	第20回	
第6回	第4回～第5回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第21回	
第7回	体内環境の維持	第22回	
第8回	体内環境を保つしくみ	第23回	
第9回	第1回～第8回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第24回	
第10回	免疫しくみ	第25回	
第11回	免疫とさまざまな疾患	第26回	
第12回	第10回～第11回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第27回	
第13回	植生と遷移	第28回	
第14回	遷移とバイオーム	第29回	
第15回	生態系とその保全	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 体育Ⅱ	単位数	3　　単位	区分	必修
教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	スポーツルール2024				

授業の概要・目的

スポーツを通じてモノの見方・考え方を働かせ、生涯にわたって実践できる豊かなスポーツライフを考えるとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
学習過程から「想像力（他者を思いやるこころ）」と「創造力（新しいものを生み出す力）」の育成を目指す。
体力と技能の関りとそれらを適切に高める必要性を理解する。
技能の型に応じた高め方があることを理解する。
運動やスポーツの安全で効果的な学習の仕方を理解する。

到達目標

1. スポーツを通じて他者とコミュニケーションがとれるようになる。
2. 下記内容を説明することができる。
・運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害
・スポーツの技術と技能及びその変化
・運動やスポーツの技能の上達過程
・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方

履修にあたって

運動・スポーツを行うことで達成感や喜びを味わうことができ、心や体を健康にすることができます。
体育Ⅱでは主に、体力向上や技能獲得を効果的に得ることができる方法を学びます。

観点別評価

知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】15回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	・体操服（運動・スポーツができる格好） ・体育館シューズ **※それぞれ指定はありません**

レポート	
回	内容
第1回	２単元　運動スポーツの学び方　1スポーツの技術と戦術～2スポーツにおける技能と体力　スポーツ種目
第2回	２単元　運動スポーツの学び方　3技能の上達過程と練習の考え方～4技能と効果的な動きのメカニズム　　スポーツ種目
第3回	２単元　運動スポーツの学び方　5体力トレーニング～6運動やスポーツでの危険予知と安全確保　　スポーツ種目
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	運動・スポーツの学び方（１）	第16回	運動・スポーツの学び方（４）
第2回	体つくり運動	第17回	ハンドボール
第3回	サッカー（フットサル）	第18回	ハンドボール
第4回	サッカー（フットサル）	第19回	ハンドボール
第5回	サッカー（フットサル）	第20回	運動・スポーツの学び方（５）
第6回	サッカー（フットサル）	第21回	ハンドボール
第7回	運動・スポーツの学び方（２）	第22回	ハンドボール
第8回	サッカー（フットサル）	第23回	ハンドボール
第9回	サッカー（フットサル）	第24回	ハンドボール
第10回	サッカー（フットサル）	第25回	運動・スポーツの学び方（６）
第11回	運動・スポーツの学び方（３）	第26回	これまでの振り返り
第12回	サッカー（フットサル）	※授業の進行状況や体育館の利用状況により変更になる場合あり	
第13回	ハンドボール	第28回	
第14回	ハンドボール	第29回	
第15回	ハンドボール	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 保健Ⅱ	単位数	1　単位	区分	必修
教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
保健の見方・考え方を働かせて、課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指す。 学習過程から「想像力（他者を思いやるこころ）」と「創造力（新しいものを生み出す力）」の育成を目指す。 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

到達目標
健康的な生活行動を理解し、身近な健康問題に関心をもち、問題解決ができるようにする。

履修にあたって
健康問題や社会の変化とともに、私たちの健康の捉え方や健康問題への対策のあり方も変化してきました。 健康をどのように捉えられ、どのように過ごせばよいのでしょうか。 多様な視点から健康を考えて、皆さんの生活に役立てましょう

観点別評価	
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】1回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	3単元　生涯を通じる健康　1思春期と健康～7高齢社会に対応した取り組み
第2回	3単元　生涯を通じる健康　8働くことと健康～　4単元　健康を支える環境づくり 4環境衛生にかかわる活動
第3回	4単元　健康を支える環境づくり　5食品の安全性と健康～11誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境作り
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	生涯を通じる健康	第16回	
第2回	健康を支える環境づくり	第17回	
第3回	健康を支える環境づくり	第18回	
第4回	これまでの振り返り	第19回	
第5回		第20回	
第6回		第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 家庭基礎	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
生活の営みに係る身から・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と共同し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する脂質・能力を次の通り育成することを目指す。

到達目標
・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図ると共にする、それらに係る技能を身に付けるようにする。 ・家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考査したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の社会の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

履修にあたって
「家庭科」からイメージすることは調理や裁縫といった実技的なものかもしれません。実は、ひとの一生、生命の誕生から人生の終わりを迎えるまでに起こる生活に関わるあらゆることが詰まっているのが「家庭科」です。社会に出てから「あ！知ってる」や「これは役に立つ！」を中心に授業を行います。 ※授業の進行状況により変更になる場合もあります。

観点別評価	
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	被服実習費として1000円程度

レポート	
回	内容
第1回	第１章「生涯を見通す」　第２章「子どもと共に育つ」
第2回	第３章「高齢社会」　第４章「共生社会」
第3回	第５章「食生活をつくる」
第4回	第６章「衣生活」～第１１章「これからの生活を創造する」
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション・第１章生涯を見通す	第16回	
第2回	第２章人生をつくる	第17回	
第3回	第３章子どもと共に育つ	第18回	
第4回	第４章高齢社会・第５章共生社会	第19回	
第5回	第５章食生活をつくる①	第20回	
第6回	第５章食生活をつくる②	第21回	
第7回	第６章衣生活をつくる（実習）	第22回	
第8回	第６章衣生活をつくる（実習）	第23回	
第9回	第７章住生活をつくる	第24回	
第10回	第８章経済生活を営む	第25回	
第11回	第１０章・第１１章持続可能な生活	第26回	
第12回	まとめ・試験対策	第27回	
第13回	※扱う分野の順番が変更となる場合があります。ご了承ください。	第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 総合Ⅱ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	なし				
副教材	なし				

授業の概要・目的
社会・生活・自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て情報収集・整理分析を行い自分の意見を生み出す力を養う授業です。 課題に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら新たな価値をつくり、学校生活を充実させ、よりよい社会を実現しようとする態度を身につけましょう。

到達目標
対話的な様々な課題に取り組み、探求の見方・考え方を働かせ、よりよい課題解決ができるための資質・能力を身につけることを目標とします。

履修にあたって
この授業では「コミュニケーション」をテーマとして扱っていきます。 前年度に引き続き、総合Ⅰで扱った題材を更に発展させた内容となります。 様々な活動を通じて、一緒に「よりよいコミュニケーション」について考えていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	コミュニケーション（対話）について
第2回	コラボレーション（協働）について
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	コミュニケーション①	第16回	ディスカッション③
第2回		第17回	協働③
第3回	ディスカッション①	第18回	
第4回		第19回	発想力
第5回	協働①	第20回	
第6回		第21回	
第7回	コミュニケーション②	第22回	
第8回		第23回	
第9回	ディスカッション②	第24回	
第10回		第25回	
第11回	協働②	第26回	
第12回		第27回	
第13回	コミュニケーション③	第28回	
第14回		第29回	
第15回	ディスカッション③	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 文学国語	単位数	4　　単位	区分	2学年履修指定
教科書	文学国語（大修館書店）				
副教材	文学国語　学習ノート（大修館書店）				

授業の概要・目的
小説，随筆，詩歌，脚本等に描かれた人物の心情や情景，表現の仕方等を読み味わい評価するとともに，それらの創作に関わる能力を育成する科目として，「思考力・判断力・表現力等」の感性・情緒の側面の力を育成する。

到達目標
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

履修にあたって
教科書に掲載されている作品はもちろん、生活の中で映画や小説に接したときの感じ方をどう表現することができるのか、創造力に繋げられるかを年間を通して考え、自分の言葉で表現できるようにしましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	随想・評論　『十八歳の選択』
第2回	小説　『山月記』
第3回	随想・評論　『月の誤訳』
第4回	詩
第5回	短歌・俳句
第6回	小説　『旅する本』
第7回	文学史
第8回	随想・評論『負の座標に向かって』
第9回	随想・評論『「遊び」の伝統」』
第10回	小説『こころ』①
第11回	小説『こころ』②
第12回	小説『檸檬』

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	随想・評論　『十八歳の選択』	第16回	
第2回	小説　『山月記』	第17回	
第3回	随想・評論　『月の誤訳』	第18回	
第4回	詩	第19回	
第5回	試験対策	第20回	
第6回	短歌・俳句	第21回	
第7回	小説『こころ』	第22回	
第8回	小説『こころ』	第23回	
第9回	随想・評論『「遊び」の伝統」』	第24回	
第10回	試験対策	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 世界史探究	単位数	3　　単位	区分	2学年履修指定
教科書	世界史探究（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
みなさんは、すでに「歴史総合」を学んでいます。その授業を通じてみなさんは、近現代の歴史の展開について、世界とそのなかの日本をしっかり視野に置いて学び、多様な資料を活用して自ら読み解き、考え、どのように歴史をとらえ判断できるのか、発表したり議論したりする経験を積み重ねたことと思います。そのような学習の方式は「世界史探究」でも同様です。これまでの学びの経験をさらに発展させて、カバーする時代範囲も、地域や国についても、あるいは政治や経済、社会についても、そしてそれらに設定された問いの種別についても、広い視野の中でとらえられるように学んでいきましょう。

到達目標
・世界史の諸事象について，世界史の大きな枠組みに関する概念等を活用して多面的・多角的に考察する。 ・世界史にまつわる文章や画像資料を収集し，読み取り，効果的にまとめる。 ・歴史に見られる課題を把握し，その解決に向けて構想したりする。

履修にあたって
世界史は暗記も大切ですが、それ以上に「考える力」がとても重要です。授業やレポートで学習したことを手掛かりに、なぜその事柄が起こったのか、諸地域はどのような課題を抱えているのか、考える習慣をつけてください。また、振り返り授業ではテストに向けた内容確認を実施する予定です。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】3回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	イギリスの歴史
第2回	アメリカ合衆国の歴史
第3回	フランスの歴史
第4回	18世紀後半から19世紀後半のイギリス、アメリカ、フランス
第5回	帝国主義
第6回	三十年戦争とナポレオン戦争
第7回	第一次世界大戦
第8回	第二次世界大戦
第9回	戦後の国際社会
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	イギリスの歴史	第16回	
第2回	アメリカ合衆国の歴史	第17回	
第3回	フランスの歴史	第18回	
第4回	第1～3回授業の振り返り	第19回	
第5回	三十年戦争とナポレオン戦争	第20回	
第6回	第一次世界大戦	第21回	
第7回	第二次世界大戦	第22回	
第8回	第5～7回授業の振り返り	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学Ⅱ	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数・対数，微分・積分について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

到達目標
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。

履修にあたって
理系学部や国公立大学文系学部志望の人は受験科目として必要になります。この科目は計算問題が中心で，数学Ⅰをより発展させた科目になります。数学に興味があり，複雑な計算問題を解いてみたい人はぜひ履修してください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	1章　方程式・式と証明　1節　式の計算　3節　高次方程式
第2回	1章　方程式・式と証明　2節　2次方程式　4節　式と証明
第3回	2章　図形と方程式　　1節　座標と直線の方程式
第4回	2章　図形と方程式　　2節　円の方程式　3節　軌跡と領域
第5回	3章　三角関数　1節　三角関数
第6回	3章　三角関数　2節　加法定理
第7回	4章　指数関数と対数関数　1節　指数関数
第8回	4章　指数関数と対数関数　2節　対数関数
第9回	5章　微分と積分　1節　微分係数と導関数
第10回	5章　微分と積分　2節　導関数の応用
第11回	5章　微分と積分　3節　積分(1)
第12回	5章　微分と積分　3節　積分(2)

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章　方程式・式と証明	第16回	
第2回	2章　図形と方程式	第17回	
第3回	3章　三角関数	第18回	
第4回	3章　三角関数（加法定理）	第19回	
第5回	試験対策①	第20回	
第6回	4章　指数関数と対数関数（指数）	第21回	
第7回	4章　指数関数と対数関数（対数）	第22回	
第8回	5章　微分と積分（微分）	第23回	
第9回	5章　微分と積分（積分）	第24回	
第10回	試験対策②	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学A	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	新数学A(東京書籍)				
副教材	なし				

授業の概要・目的
場合の数，確率，図形の性質，整数の性質について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

到達目標
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。

履修にあたって
数学Aは数学Ⅰと比べ，計算問題が少なく図形問題など概念や原理をしっかりと理解する必要があります。数学ⅠA(数学ⅠとAのセット)として入試科目になりやすいので，受験で必要な人や数学Ⅰを興味深く学習できた人は履修ください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	1章　場合の数と確率　1節　場合の数
第2回	1章　場合の数と確率　2節　確率
第3回	2章　図形の性質　1節　平面図形の基礎　2節　三角形の性質
第4回	2章　図形の性質　3節　円の性質　4節　空間図形
第5回	3章　数学と人間の活動　1節　数や位置を表す　2節　数のつくりを調べる
第6回	3章　数学と人間の活動　3節　はかる　4節　数学で遊ぶ
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章　場合の数と確率(1)	第16回	
第2回	1章　場合の数と確率(2)	第17回	
第3回	2章　図形の性質(1)　試験対策①	第18回	
第4回	2章　図形の性質(2)	第19回	
第5回	3章　数学と人間の活動(1)	第20回	
第6回	3章　数学と人間の活動(2)　試験対策②	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 化学基礎	単位数	2　　単位	区分	選択必修
教科書	新編化学基礎（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　化学基礎（東京書籍）				

授業の概要・目的

化学基礎では、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割について学習する。
物質の構成を学び、それらが物質の性質や物質の反応にどのよう影響しているかを理解することを目指す。また、それらが人間社会とどのような関わりを持っているかを理解することを目指す。
化学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標

″化学の基礎的な知識を習得し、物質の構成や物質の変化について理解する。
物質を構成する粒子の構造とその性質が、物質の性質や物質に起こる現象に関係することを理解する。
授業で学んだことを活かし、身近な「物質の性質」についてその仕組みを説明できる。
授業で学んだことを活かし、身近な「物質に起こる現象」についてその仕組みを説明できる。″□
□
□

履修にあたって

物質は原子という小さな粒が集まってできています。
この原子の性質やふるまいを知ることで、物質の性質やふるまいをより理解できるようになるでしょう。このように化学は、これまでの世界を新たな角度から見ることのできる「化学の目」を与えてくれます。化学の目で共に世界を覗いてみましょう。（実験を行う時間もあります。）

観点別評価

知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	物質の成分と構成元素
第2回	原子の構造と元素の周期表
第3回	化学結合
第4回	物質量と化学反応式
第5回	酸と塩基
第6回	酸化還元反応
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	物質の成分	第16回	全体を通しての授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り
第2回	物質の構成元素と三態	第17回	
第3回	原子の構造	第18回	
第4回	電子配置	第19回	
第5回	周期表	第20回	
第6回	結合と結晶①	第21回	
第7回	結合と結晶②	第22回	
第8回	中間試験対策授業	第23回	
第9回	原子量、分子量、式量	第24回	
第10回	物質量	第25回	
第11回	溶液の濃度	第26回	
第12回	化学反応式と量的関係	第27回	
第13回	酸と塩基	第28回	
第14回	中和反応と塩	第29回	
第15回	酸化と還元・酸化還元反応	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 地学基礎	単位数	2　　単位	区分	選択必修
教科書	地学基礎（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　地学基礎（東京書籍）				

授業の概要・目的
地学基礎では、私たちの生活の場である自然環境に関する内容ついて学習する。 〈私たちの宇宙の進化〉〈私たちの地球の変遷と生物の進化〉〈私たちの大地〉〈私たちの空と海・地球のこれから〉 地学を学ぶことで物理的、化学的、生物的側面の理解をより深めることができる。地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、地球の自然環境と日常生活や社会とのかかわりを考えることができるようになることを目指す。地学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標
地学の基礎的な知識を習得し、地学的に探究する能力と態度が身につく。 学習した内容が日常生活や社会とかかわることを理解することで、地球や地球を取り巻く環境について関心を高める。 授業で学んだことを活かし、科学的な見方や考え方を持つことができる。

履修にあたって
地学では化学、物理を通して宇宙や地球内部の状態、気象現象の原因などを解明し、生物学などを通して生物的多様性がどのようにして発達したのかを大きな視点から捉えて行きます。実験やデジタルツールの活用を通して親しみましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス	
回	内容
第1回	私たちの大地
第2回	私たちの空と海
第3回	私たちの宇宙の誕生
第4回	私たちの地球の歴史
第5回	地球に生きる私たち
第6回	これからの地球環境
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	１編１章　大地とその動き	第16回	４編、５編の振り返り
第2回	１編２章　火山活動と地震	第17回	
第3回	第1回～第2回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第18回	
第4回	２編１章　地球の熱収支	第19回	
第5回	２編２章　大気と海水の運動	第20回	
第6回	第4回～第5回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第21回	
第7回	３編１章　宇宙の構造と進化	第22回	
第8回	１編、２編、３編の振り返り	第23回	
第9回	４編１章　地層と化石の観察	第24回	
第10回	４編２章　古生物の変遷と地球環境	第25回	
第11回	第9回～第10回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第26回	
第12回	５編１章　日本の自然の恵みと防災	第27回	
第13回	５編終１章　地球環境の考え方	第28回	
第14回	５編終２章　自然環境の変動	第29回	
第15回	５編終３章　これからの地球環境	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて情報を収集したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることによって、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語を用いてやり取りしたり、書いたりする能力を身につける。

到達目標
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたりして概要や要点をとらえたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、文章を書いて伝えることができる。

履修にあたって
○準備物 教科書・筆記用具 ○授業・レポート・テストについて ４技能〔聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと〕を授業やレポートで運用能力を高めていきましょう。テストでは、話すこと以外の練習の成果をはかっていきます。自分のペースで英語を使って自身の可能性を広げていきましょう！

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Pre-lesson　Lesson　1　A Colorful Island
第2回	Lesson 2 With the Beatles
第3回	Lesson 3 Wild Men
第4回	Lesson 4 Little Hero
第5回	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki
第6回	Reading 1 Mujina
第7回	Lesson 7 Over the Wall
第8回	Lesson 8 Inspiration from Nature
第9回	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate
第10回	Lesson 10 Fighting Angel
第11回	Reading 2 Bear's Pie
第12回	Extra Taret

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W-UP　1年間の英語学習について	第16回	Lesson 5,Reading 1 振り返りなど
第2回	Lesson 1 インプット	第17回	Lesson 7 インプット
第3回	Lesson 1 アウトプット	第18回	Lesson 7 アウトプット
第4回	Lesson 2 インプット	第19回	Lesson 8 インプット
第5回	Lesson 2 アウトプット	第20回	Lesson 8 アウトプット
第6回	Lesson 1,2 振り返り Let's listen等	第21回	Lesson 7,8 振り返り　文法のまとめ
第7回	Lesson 3 インプット	第22回	Lesson 9 インプット
第8回	Lesson 3 アウトプット	第23回	Lesson 9 アウトプット
第9回	Lesson 4 インプット	第24回	Lesson 10 インプット
第10回	Lesson 4 アウトプット	第25回	Lesson 10 アウトプット
第11回	Lesson 3,4 振り返り　Let's listen等	第26回	Reading 2 インプット
第12回	Lesson 5 インプット	第27回	Reading 2 アウトプット
第13回	Lesson 5 アウトプット	第28回	Reading 2 振り返り　まとめ
第14回	Reading 1 インプット	第29回	
第15回	Reading 1 アウトプット	第30回	

※ 時間割編成上、試験対策授業が火曜・木曜に開講となる場合があります。ご了承ください。※

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 論理・表現Ⅰ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	New Favorite Ⅰ English Logic and Expression				
副教材	なし				

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて、クラスメイトとコミュニケーションをとったりすることによって、簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝える能力を身につける。

到達目標
簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝えることができる。

履修にあたって
○準備物 教科書・ノート ○授業・レポート・テストについて 英語表現Ⅰの授業は、英語を使った表現活動（ライティング、スピーキング）が中心になります。初めから上手にできる必要は全くありませんが、表現活動に挑戦しようという姿勢が大切になります。英語で何かを表現できるようになりたい人は是非履修を検討してみてください。 レポートは、教科書の内容（読解、英文法）に加えて、授業で実施した表現活動に関する内容が出題されます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Unit 1 Lesson1 ～ Lesson 4
第2回	Unit 1 Lesson5 ～ Lesson 7
第3回	Unit 1 Lesson8 ～ Lesson10
第4回	Unit 1 Lesson11 ～ Lesson12, Unit 2 Lesson 1 ～ Lesson 2
第5回	Unit 2 Lesson 3 ～ Lesson 5
第6回	Unit 2 Lesson 6 ～ Lesson 8
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W一UP, １年間の英語学習について	第16回	テスト対策授業
第2回	Lesson 1, Lesson 2 アクティビティ①	第17回	
第3回	Lesson 3, Lesson 4 アクティビティ②-1	第18回	
第4回	Lesson 5, Lesson 6 アクティビティ②-2	第19回	
第5回	Lesson 7, Lesson 8 アクティビティ③-1	第20回	
第6回	アクティビティ③-2	第21回	
第7回	Lesson 9, Lesson 10 前期Lesson 振り返り	第22回	
第8回	テスト対策授業	第23回	
第9回	Lesson 11, Lesson 12 アクティビティ④-1	第24回	
第10回	Unit 2 Lesson 1, Lesson 2 アクティビティ④-2	第25回	
第11回	Unit 2 Lesson 3, Lesson 4 アクティビティ⑤-1	第26回	
第12回	アクティビティ⑤-2	第27回	
第13回	Unit 2 Lesson 5, Lesson 6 アクティビティ⑥-1	第28回	
第14回	アクティビティ⑥-2	第29回	
第15回	Unit 2 Lesson 7, Lesson 8 後期Lesson振り返り	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 美術Ⅱ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
創造的な諸活動や作品鑑賞を通して美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表す。また、対話型鑑賞を通じて発想や構想の独自性と表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。

到達目標
生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

履修にあたって
美術Ⅱは、美術Ⅰを履修済みの生徒が選択できる科目です。 美術Ⅰで扱った題材を更に発展させた内容となります。 美術Ⅰ同様、この授業は作品のみでの採点は行いません。 作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	デザイン　色の整理と配色
第2回	デザイン　色相と配色
第3回	デザイン　イメージをカタチに①
第4回	デザイン　イメージをカタチに②
第5回	鑑賞　絵画鑑賞
第6回	絵画　空想画
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション①	第16回	美術Ⅱまとめ
第2回	オリエンテーション②アイデアの作り方	第17回	
第3回	レポート課題取り組みのポイント①	第18回	
第4回	レポート課題取り組みのポイント②	第19回	
第5回	デザイン③ 情報編集	第20回	
第6回	デザイン④ 情報編集	第21回	
第7回	デザイン⑤ 情報編集	第22回	
第8回	デザイン⑥ 情報編集	第23回	
第9回	対話型鑑賞②	第24回	
第10回	対話型鑑賞②	第25回	
第11回	映像メディア①　動画	第26回	
第12回	映像メディア②　動画	第27回	
第13回	対話型鑑賞①	第28回	
第14回	対話型鑑賞①	第29回	
第15回	絵画　次年度に向けて	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 工芸Ⅱ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
【概要】工芸品の鑑賞を通して工芸の日常生活における役割を理解します。また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。 【目的】「工芸Ⅰ」の学習を踏まえ、工芸の伝統や文化と深く関わる能力を伸ばすことが目的です。

到達目標
・社会的な視点に立って工芸の役割を深く理解する。 ・さまざまな様式の工芸品を知る。 ・他者の意見を踏まえて工芸の新しいアイデアをつくる。

履修にあたって
・紙などを素材とする立体作品を制作します。 ・グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する１
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する２
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する３
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する４
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する５
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する６
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション１	第16回	社会と工芸４
第2回	伝統と工芸１	第17回	
第3回	伝統と工芸２	第18回	
第4回	伝統と工芸３	第19回	
第5回	生活と工芸１	第20回	
第6回	生活と工芸２	第21回	
第7回	生活と工芸３	第22回	
第8回	生活と工芸４	第23回	
第9回	新しい工芸のアイデア１	第24回	
第10回	新しい工芸のアイデア２	第25回	
第11回	新しい工芸のアイデア３	第26回	
第12回	新しい工芸のアイデア４	第27回	
第13回	社会と工芸１	第28回	
第14回	社会と工芸２	第29回	
第15回	社会と工芸３	第30回	

京都芸術大学附属高等学校

2024 年度シラバス 3 年生用

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 体育Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	新呼応等保健体育（大修館書店）				
副教材	スポーツルール				

授業の概要・目的
スポーツを通じてモノの見方・考え方を働かせ、生涯にわたって実践できる豊かなスポーツライフを計画・実践するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 学習過程から「想像力（他者を思いやる心）」と「創造力（新しいものを生み出す力）」の育成を目指す。 高校卒業後においても自己に適した生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続していくためには、各ライフステージ（生涯の各段階）と併せてライフスタイル（生き方や暮らし方）に応じた継続の仕方を工夫する必要がある。それらの特徴や条件に応じて、無理なくスポーツを継続するための見通しをもつことが大切であることや、誰もがスポーツに親しむことのできる社会を支援するスポーツ推進の施策があることなどについて理解する。

到達目標
1. スポーツを通じて他者とコミュニケーションがとれるようになる。 2. 下記内容を説明することができる。 ・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 ・スポーツ推進のための施策と諸条件 ・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会

履修にあたって
スポーツは人間のためにあるのであって、スポーツのために人間があるのではありません。 皆さんにとって、どのような工夫をすればスポーツがさらに楽しくなるでしょうか。また、生涯にわたってスポーツを関わることができるでしょうか。ともに考えていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】10回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	・体操服（運動・スポーツができる格好） ・体育館シューズ ※それぞれ指定はありません。

レポート	
回	内容
第1回	単元3 豊かなスポーツライフの設計　１生涯スポーツの見方・考え方～ライフスタイルとスポーツの楽しみ方　スポーツ種目
第2回	単元３　豊かなスポーツライフの設計　３スポーツ推進のための施策と課題～スポーツで「未来」を創る　スポーツ種目
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	生涯スポーツの見方・考え方	第16回	スポーツで「未来」を創る
第2回	体つくり運動	第17回	これまでの振り返り（実技）
第3回	バスケットボール	第18回	これまでの振り返り（座学）
第4回	バスケットボール	第19回	
第5回	バスケットボール	第20回	
第6回	バスケットボール	第21回	
第7回	バスケットボール	第22回	
第8回	バスケットボール	第23回	
第9回	ライフスタイルとスポーツの楽しみ方	第24回	
第10回	スポーツ推進のための施策と課題	第25回	
第11回	ニュースポーツ	第26回	
第12回	ニュースポーツ	第27回	
第13回	ニュースポーツ	第28回	
第14回	ニュースポーツ	第29回	
第15回	ニュースポーツ	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 情報Ⅰ	単位数	2　単位	区分	必修
教科書	情報Ⅰ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
多くの情報に囲まれた現代社会においては、必要な情報を選択し、その真偽を判断し、最適な行動を選択できる情報活用能力をはじめ、問題解決のために主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとする態度や創造性が必要です。 これらの力を身に付けるための知識と技術の習得を目指した座学と実習を行います。

到達目標
・自らの生活・学習において、主体的な情報活用ができる。 ・情報や情報技術の仕組み、あるいは情報の取り扱い方に関する基本的な理論や方法、仕組みを理解する。 ・情報や情報技術が果たしている役割、及ぼす影響を理解し、情報の正しい扱い方を判断できる。

履修にあたって
情報は生活を便利に、豊かにしてくれますが、そのプラス面とマイナス面を知り、適切に取り扱うための理論や知識が必要不可欠です。情報に関する知識を養い、活用していく上でのベースを学習していきましょう。

観点別評価	
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第1章　情報で問題を解決する
第2回	第2章　情報を伝える
第3回	第3章　コンピュータを活用する
第4回	第4章　データを活用する
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	ガイダンス・座学（情報で問題を解決する）	第16回	
第2回	実習（PowerPoint）	第17回	
第3回	座学（情報で問題を解決する）	第18回	
第4回	実習（Word）	第19回	
第5回	座学（情報を伝える）	第20回	
第6回	実習（PowerPoint）	第21回	
第7回	座学（コンピュータを活用する）	第22回	
第8回	実習（Word）	第23回	
第9回	座学（データを活用する）	第24回	
第10回	実習（Excel）	第25回	
第11回	実習（Excel）	第26回	
第12回	座学（データを活用する）	第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2023年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 総合Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	なし				
副教材	なし				

授業の概要・目的
実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て情報を収集し、整理分析して自分の意見を生み出す力を養う授業です。
到達目標
対話的な様々な課題に取り組む中で、探求の見方・考え方を働かせ、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を身につけることを目標とします。
履修にあたって
この授業では「コミュニケーション」をテーマとして扱っていきます。 今、コミュニケーションに対して苦手な印象を持っている人もいるかも知れませんね。 ただ、受講に際してそれは問題ありません。 様々な活動を通じて、一緒に「よりよいコミュニケーション」について考えていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	コミュニケーション（対話）について
第2回	コラボレーション（協働）について
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1時間目：哲学カフェ①	第8回	2時間目：文章表現
	2時間目：文章表現	第9回	1時間目：ディスカッション③
第2回	1時間目：コンセンサス①		2時間目：文章表現
	2時間目：文章表現	第10回	1時間目：レポートまとめ・解説
第3回	1時間目：ディスカッション①		2時間目：レポートまとめ・解説
	2時間目：文章表現		
第4回	1時間目：対話型鑑賞		
	2時間目：文章表現		
第5回	1時間目：コンセンサス②		
	2時間目：文章表現		
第6回	1時間目：哲学カフェ②		
	2時間目：文章表現		
第7回	1時間目：ディスカッション②		
	2時間目：文章表現		
第8回	1時間目：コンセンサス③		

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 国語表現	単位数	4　　単位	区分	3学年履修指定
教科書	『国語表現』（大修館）				
副教材	『国語表現　基礎練習ノート』（大修館）				

授業の概要・目的
現代の高校生が実際の日常生活や社会生活の中で必要とされる表現力を身につけるための授業です。随筆・評論を読み解きながら、多角的な視点に立ち、自身で表現することを目的としています。また、言葉を通して他者や社会に積極的に関わる態度を身につけることを目指します。

到達目標
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。 ・共感する力、想像力を伸ばし、表現の手段を得る。 ・論理的思考の下、筋道の立った論を立てることができる。 ・目的に合わせて表現方法を変えることができる。

履修にあたって
国語表現では「書くこと」のみならず、「話すこと」「聞くこと」を取り上げて授業を進めていきます。場面に合わせた表現方法を身につけ、今後の社会生活に生かしていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	「言葉と出会う」①
第2回	「伝える、伝えあう」
第3回	野矢茂樹「論理的な表現とは？」
第4回	小論文入門
第5回	金田一秀穂「一枚の絵を言葉で書いてみる」
第6回	自己を見つめる
第7回	マイニュース記事を書こう
第8回	将来の自分を考えよう
第9回	「言葉と出会う」②
第10回	課題文型小論文　佐藤信夫「コインは円形か？」
第11回	データ型小論文　辻村深月「時代の気分、言葉の温度」
第12回	メディアを考える

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	「言葉と出会う」	第16回	
第2回	「伝える、伝えあう」	第17回	
第3回	野矢茂樹「論理的な表現とは？」	第18回	
第4回	金田一秀穂「一枚の絵を言葉で書いてみる」	第19回	
第5回	試験対策	第20回	
第6回	自己を見つめる	第21回	
第7回	佐藤信夫「コインは円形か？」	第22回	
第8回	辻村深月「時代の気分、言葉の温度」	第23回	
第9回	メディアを考える	第24回	
第10回	試験対策	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 日本史探究	単位数	3　　単位	区分	3学年履修指定
教科書	日本史探究（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
この科目は、「歴史総合」を学習した上で、我が国の歴史の展開について総合的な理解を深め、各時代の展開に関わる概念等を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し、地域や日本、世界の歴史の関わりを踏まえ、現代の日本の諸課題とその展望を探究する力を養うことが目的です。「A　原始・古代の日本と東アジア」、「B　中世の日本と世界」、「C　近世の日本と世界」、「D　近現代の地域・日本と世界」という四つの大項目を学習しつつ、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期を表現します。

到達目標
・諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。 ・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義を考察したり効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

履修にあたって
知識の暗記も大切ですが、それ以上に「考える力」がとても重要です。「過去の事象と類似した現代の事象は何だろうか」「現在の事象と，どのような点が関連しているのだろうか」など、現代と結び付けて考える習慣を付けましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】3回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	旧石器時代の日本～平城京と天平文化
第2回	平安遷都と唐風文化～中世社会の国際交流
第3回	鎌倉幕府の誕生～室町文化
第4回	織豊政権と桃山文化～幕藩体制下の社会の発展
第5回	享保の改革～幕府の崩壊と明治維新
第6回	近現代制度の導入と新しい国際関係～教育制度の整備と新しい文化
第7回	日露戦争と帝国日本～政党政治とデモクラシー
第8回	第二次世界大戦と日本～冷戦の開始と経済復興
第9回	国際社会への復帰と高度経済成長～21世紀の日本
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	奈良時代の朝廷と文化	第16回	
第2回	平安時代の朝廷と文化	第17回	
第3回	武家政権の成立と国際社会の変容	第18回	
第4回	第1～3回授業の振り返り	第19回	
第5回	開国と開港	第20回	
第6回	第一次世界大戦における日本の在り方	第21回	
第7回	第二次世界大戦における日本の在り方	第22回	
第8回	第5～7回授業の振り返り	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 古典探究	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	『新編 古典探究』（東京書籍）				
副教材	『新編 古典探究　学習課題ノート』（東京書籍）				

授業の概要・目的
伝統的な言語文化に対する関心と理解を深めるための授業です。論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成することを目的としています。 また、伝統的な言語文化を通して、現在の「国語」の理解を深めることを目指します。

到達目標
・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。 ・思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育む。 ・古典を通して現在の「国語」の理解を深め、客観的な視点を持つ。

履修にあたって
古典探究では、２年次の言語文化の内容からさらに上を目指していきます。授業で取り上げる作品はもちろんのこと、授業外・教科書外の作品にも挑戦できるように、基礎的な知識を身につけるための課題を用意します。大学受験で古典が必要な人、古典作品に深く触れたい人におすすめです。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	【古文】『宇治拾遺物語』
第2回	【古文】『十訓抄』
第3回	【古文】『竹取物語』
第4回	【漢文】『戦国策』「蛇足」
第5回	【漢文】『五雑組』「畏饅頭」
第6回	【古文】『小倉百人一首』
第7回	【古文】『徒然草』
第8回	文学史
第9回	【古文】『土佐日記』
第10回	【古文】『源氏物語』「光源氏の誕生」
第11回	【古文】『源氏物語』「若紫」
第12回	【漢文】『史記』

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	『宇治拾遺物語』	第16回	
第2回	『十訓抄』	第17回	
第3回	『竹取物語』	第18回	
第4回	『五雑組』「畏饅頭」	第19回	
第5回	試験対策	第20回	
第6回	『土佐日記』	第21回	
第7回	『源氏物語』「光源氏の誕生」	第22回	
第8回	『源氏物語』「若紫」	第23回	
第9回	『史記』	第24回	
第10回	試験対策	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ	単位数	4　単位	区分	選択
教科書	All Aboard! English Communication Ⅲ				
副教材					

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて、情報を収集したりクラスメイトとコミュニケーションをとったりすることによって、多様なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語でやりとりをしたり、発表したり、書いたりする能力を身につける。

到達目標
教科書の内容をもとに、クラスメイトとコミュニケーションを取りながら、多様なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語でやりとりをしたり、発表したり、書いたりする能力を身につける。

履修にあたって
多様なトピックに英語で触れることで、社会について学び、コミュニケーションを深め、自らの考えや英語の思考を養っていく積極性を求めます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Lesson 1 Gifts to Barcelona
第2回	Lesson 2 Akkamui
第3回	Lesson 3 Your True Color
第4回	Lesson 4 Our Future Food?
第5回	Lesson 5 Madagascar
第6回	Reading 1 The Fun They Had
第7回	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors
第8回	Lesson 7 Green Challenges
第9回	Lesson 8 Witnesses of War
第10回	Lesson 9 The Wonders of Lightning
第11回	Lesson 10 Katherine's Long Journey
第12回	Reading 2 Table for Two

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	建築物の紹介の概要を読み取る（L.1）	第16回	図表を読んで情報を正確に読み取ることができる（L.7）
第2回	建築物の紹介の概要を聞き取る（L.1）	第17回	路面電車の果たした役割について情報を読み取る（L.8）
第3回	エゾモモンガの紹介の概要を読み取る（L.2）	第18回	人や物について説明を読み取り、表現を用いて発表する（L.8）
第4回	エゾモモンガの紹介の概要を聞き取る（L.2）	第19回	雷に関する情報や対処法について情報を正確に読み取ることができる（L.9）
第5回	伝統衣装やファッションに関する説明を読み取る（L.3）	第20回	雷と地球温暖化の関係についての詳細をまとめる（L.9）
第6回	伝統衣装やファッションに関する説明を聞き取る（L.3）	第21回	キャサリンの業績とアメリカにある差別について情報を正確に読み取ることができる（L.10）
第7回	昆虫食について情報を読み取る（L.4）	第22回	キャサリンの業績とアメリカにある差別についての詳細をまとめる（L.10）
第8回	昆虫食について説明を読み取り、表現を用いて発表する（L.4）	第23回	内容についてまとめる（L.10）
第9回	昆虫食について説明を読み取り、表現を用いて発表する（L.4）	第24回	物語を読んで情報を整理する（Reading 1）
第10回	マダガスカルの自然と現状の課題について要点を読み取る（L.5）	第25回	物語を読んで情報を聞き取る（Reading 1）
第11回	マダガスカルの自然と現状の課題について適切な表現を用いて話す（L.5）	第26回	物語を読んで情報を整理する（Reading 2）
第12回	自然環境との共生について考える（L.5）	第27回	物語を読んで情報を聞き取る（Reading ２）
第13回	兵馬俑の謎について概要や要点を読み取る（L.6）	第28回	一年間の振り返り
第14回	兵馬俑の謎について詳細を読み取り、史跡について情報を整理する（L.6）	第29回	
第15回	エネルギー問題とデンマークについて概要や要点を正確に読み取ることができる（L.7）	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 政治・経済	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	政治・経済（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
「政治・経済」の学習は、基本的には「公共」の延長線上にあります。ただし、大きく異なるのは、「政治・経済」では日本や世界の政治や経済について俯瞰的に学習するという点です。日本の政治のしくみはどうなっているか、日本経済が成長するには何が必要かなどの課題を具体的に追究していくなかで、政治や経済に関する知識・概念や「視点や方法」を身につけていきます。そのうえで、自分自身に立ち返り、よりよい社会を形成するために自分にできることを構想し、実践していきます。

到達目標
1 社会の在り方に関わる諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。 2 社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する理論などを活用し，社会に見られる課題を把握し説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの実現可能性などを議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養います。 3 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる，国民主権を担う公民として，平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

履修にあたって
「公共」で身につけた「視点や方法」を活かしつつ、政治・経済に対するより深い理解の下、より実践的な解決策を探究していくのが、「政治・経済」の特徴です。「政治・経済」を学習する上では、当然、「公共」で学習した知識・概念や「視点や方法」が学習の基盤として重要になってきます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第1編　現代日本の政治と経済　第1章　現代日本の政治 2節　日本国憲法の基本原理
第2回	第2章　現代日本の経済　1節　現代の資本主義経済
第3回	4節　福祉社会と日本経済の課題
第4回	第2編　グローバル化する国際社会　第1章　現代の国際政治 1節　国際政治のしくみ
第5回	2節　複雑化する国際政治と日本
第6回	第2章　現代の国際経済　2節　世界経済の現状と課題
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第1編 第1章 現代日本の政治①	第16回	
第2回	第1章 現代日本の経済①	第17回	
第3回	第1・2回授業振り返り	第18回	
第4回	第2編　第1章　現代の国際政治①	第19回	
第5回	第2章 現代の国際経済①	第20回	
第6回	第4・5回授業振り返り	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 化学	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	化学Vol.1理論編　化学Vol.2物質編				
副教材					

授業の概要・目的
化学では物質の性質・構造・反応について詳しく学習する。また、化学の知識を活かして物質を利用したり目的にかなった物質をつくり出すなどこれまで人類が積み上げてきた化学の実績についても学習する。物質に関する原理・法則について学び、それらと身の回りにある物質の具体的なふるまいを結び付けて理解することができるようになることを目指す。 化学の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標
自然界は物質によってできており、その物質は原子によってできていることを理解する。 物質の性質・構造・反応を原子や分子のレベルで捉えることができる。 授業で学んだことを活かし、物質に関する原理や法則を身の回りの具体的なふるまいと結び付けて説明することができる。

履修にあたって
化学は「物質の性質、構造、反応を研究する学問」です。 化学では、「反応の原因となる性質、その性質を決定づけている構造、その構造が生まれる原理」のように物事の最も深い原理や法則に迫っていく学問です。これまで人類が積み上げてきた発見の数々を共に学んでいきましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	化学反応式と物質量（復習）
第2回	物質の三態・気体の性質
第3回	理想気体の状態方程式・混合気体・溶液
第4回	蒸気圧降下・沸点上昇・凝固点降下・浸透圧・コロイド
第5回	結晶の種類・金属結晶の構造
第6回	熱化学方程式・結合エネルギー
第7回	電池・電気分解
第8回	反応速度と活性化エネルギー・化学平衡とルシャトリエの原理・電離平衡と溶解平衡
第9回	周期表と希ガス・ハロゲン・酸素・硫黄
第10回	窒素・リン・炭素・ケイ素・アルカリ（土類）金属・典型元素・遷移元素
第11回	有機化合物
第12回	高分子化合物

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	化学反応式（復習）	第16回	化学平衡とルシャトリエの原理
第2回	物質量計算（復習）	第17回	電離平衡と溶解平衡
第3回	物質の三態	第18回	周期表と希ガス
第4回	気体の性質	第19回	ハロゲン・酸素・硫黄
第5回	理想気体の状態方程式	第20回	窒素・リン・炭素・ケイ素
第6回	溶液	第21回	アルカリ（土類）金属・典型元素・遷移元素
第7回	蒸気圧降下・沸点上昇・凝固点降下	第22回	有機化合物
第8回	浸透圧・コロイド	第23回	高分子化合物
第9回	結晶の種類・金属結晶の構造	第24回	単位認定試験対策授業
第10回	熱化学方程式・結合エネルギー	第25回	
第11回	電池	第26回	
第12回	電気分解	第27回	
第13回	第１回～第１２回に関わる実験及び解説など	第28回	
第14回	中間試験対策授業	第29回	
第15回	反応速度と活性化エネルギー	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 生物	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	生物（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　生物（東京書籍）				

授業の概要・目的
「生物基礎」からの発展的な内容にも触れ、より深く生物や生命現象について学んでいきます。生物の共通性と多様性がどのようにして生まれたのかを知り、私たちやその他の生物の存在と多様なあり方を認めていきます。世界がちょっと面白くなるような生物の特徴を学んでいきます。 生物について学ぶことで、生物の一員である我々ヒトについての理解を深める。「細胞」「組織」「個体」「生態系」という階層性を意識して学ぶことで、生物学を大小様々な視野で捉えることができるようになることを目指す。 生物の学習の過程で、新たな知識を獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標
生物学の基礎的な知識を習得し、生物の共通性と多様性を理解する。 生物基礎をさらに深めた内容でしくみを知り、自分を知ることで命の大切さを理解する。 授業で学んだことを活かし、分子から進化の歴史まで、大小や時間軸の視点で生物学を捉えることができる。 授業で学んだことを活かし、「生物とは何か」について、自分なりの考えを持つことができる。

履修にあたって
生物とそれを取り巻く環境を学ぶことで、生物とは何か、動物とは何か、ヒトとは何かを考えてゆきます。それぞれの多様な生き方を理解すると、自分とは何者なのか次第に見えてくることでしょう。世界はこんなに多様で面白い。そんな実感がわくわくとともに湧いてくる学びにしたいと考えています。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス	
回	内容
第1回	生命現象と物質　第１章～２章
第2回	生命現象と物質　第３章
第3回	遺伝子のはたらき　第１章～２章
第4回	遺伝子のはたらき　第３章～４章
第5回	生殖と発生　第１章～２章
第6回	生殖と発生　第３章～４章
第7回	生物の環境応答　第１章～２章
第8回	生物の環境応答　第３章
第9回	生態と環境　第１章～２章
第10回	生態と環境　第３章～４章
第11回	生物の進化と系統　第１章～２章
第12回	生物の進化と系統　第３章

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第１編　生体物質と細胞	第16回	第13回～第15回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第2回	第１編　生命現象を支えるタンパク質	第17回	第５編　生物の多様性と生態学～個体群と生物群集
第3回	第１編　代謝とエネルギー	第18回	第５編　生態系の物質生産とエネルギーの流れ
第4回	第1回～第3回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第19回	第５編　生態系と生物多様性
第5回	第２編　DNAの構造と複製	第20回	第17回～第19回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第6回	第２編　遺伝情報の発現～遺伝子の発現調節	第21回	第６編　生命の起源と生物の変遷
第7回	第２編　バイオテクノロジー	第22回	第６編　進化のしくみ
第8回	第5回～第7回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第23回	第６編　生物の系統
第9回	第３編　多様な個体が生じる有性生殖	第24回	第21回～第23回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第10回	第３編　動物の発生	第25回	
第11回	第３編　動物の発生の仕組み	第26回	
第12回	第9回～第11回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第27回	
第13回	第３編　植物の発生	第28回	
第14回	第４編　動物の刺激の受容と反応～動物の行動	第29回	
第15回	第４編　植物の環境応答	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 美術Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	高校生の美術3（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
創造的な諸活動や作品鑑賞を通して美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。 制作や鑑賞を通じて自己と社会を深く見つめ、これまでの創造活動を発展させ、創造的な表現を追求する。また、対話型鑑賞を通じて発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める。

到達目標
生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

履修にあたって
美術Ⅲは、美術Ⅱを履修済みの生徒が選択できる科目です。 美術Ⅱで扱った題材を更に発展させた内容となります。 美術Ⅱ同様、この授業は作品のみでの採点は行いません。 作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	デザイン　言葉とビジュアル
第2回	絵画　細密画
第3回	デザイン　色の整理と配色
第4回	絵画　空想画
第5回	デザイン　イメージをカタチに
第6回	絵画　鉛筆デッサン
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション①	第16回	1年間のまとめ②
第2回	オリエンテーション②	第17回	
第3回	対話型鑑賞①	第18回	
第4回	対話型鑑賞②	第19回	
第5回	デザイン①　観察とアイデア	第20回	
第6回	デザイン②　観察とアイデア	第21回	
第7回	デザイン③　企画とプレゼンテーション	第22回	
第8回	デザイン④　企画とプレゼンテーション	第23回	
第9回	デザイン⑤　企画とプレゼンテーション	第24回	
第10回	デザイン⑥　企画とプレゼンテーション	第25回	
第11回	デザイン⑦　企画とプレゼンテーション	第26回	
第12回	デザイン⑧　企画とプレゼンテーション	第27回	
第13回	デザイン⑨　企画とプレゼンテーション	第28回	
第14回	デザイン⑩　企画とプレゼンテーション	第29回	
第15回	1年間のまとめ①	第30回	

2023年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 工芸Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
【概要】発展的な鑑賞や対話、制作活動など、工芸の創造的な諸活動に取り組み、感性と美意識を磨きます。また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。 【目的】美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な工芸やその伝統や文化と深く関わる資質・能力を身につけることが目標です。

到達目標
・これからの時代における工芸のあり方についての考えを発表する。 ・他者の意見を踏まえて工芸の新しいアイデアをつくる。 ・造形や色彩の知識を活かして発展的な立体作品を制作する。

履修にあたって
・紙などを素材とする立体作品を制作します。 ・グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する１
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する２
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する３
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する４
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する５
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する６
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション１	第16回	美意識と工芸４
第2回	地域と工芸１	第17回	
第3回	地域と工芸２	第18回	
第4回	地域と工芸３	第19回	
第5回	多様な社会における工芸１	第20回	
第6回	多様な社会における工芸２	第21回	
第7回	多様な社会における工芸３	第22回	
第8回	多様な社会における工芸４	第23回	
第9回	新しい工芸のアイデア１	第24回	
第10回	新しい工芸のアイデア２	第25回	
第11回	新しい工芸のアイデア３	第26回	
第12回	新しい工芸のアイデア４	第27回	
第13回	美意識と工芸１	第28回	
第14回	美意識と工芸２	第29回	
第15回	美意識と工芸３	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学Ⅱ	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数・対数，微分・積分について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

到達目標
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。

履修にあたって
理系学部や国公立大学文系学部志望の人は受験科目として必要になります。この科目は計算問題が中心で，数学Ⅰをより発展させた科目になります。数学に興味があり，複雑な計算問題を解いてみたい人はぜひ履修してください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	1章　方程式・式と証明　1節　式の計算　3節　高次方程式
第2回	1章　方程式・式と証明　2節　2次方程式　4節　式と証明
第3回	2章　図形と方程式　　1節　座標と直線の方程式
第4回	2章　図形と方程式　　2節　円の方程式　3節　軌跡と領域
第5回	3章　三角関数　1節　三角関数
第6回	3章　三角関数　2節　加法定理
第7回	4章　指数関数と対数関数　1節　指数関数
第8回	4章　指数関数と対数関数　2節　対数関数
第9回	5章　微分と積分　1節　微分係数と導関数
第10回	5章　微分と積分　2節　導関数の応用
第11回	5章　微分と積分　3節　積分(1)
第12回	5章　微分と積分　3節　積分(2)

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章　方程式・式と証明	第16回	
第2回	2章　図形と方程式	第17回	
第3回	3章　三角関数	第18回	
第4回	3章　三角関数（加法定理）	第19回	
第5回	試験対策①	第20回	
第6回	4章　指数関数と対数関数（指数）	第21回	
第7回	4章　指数関数と対数関数（対数）	第22回	
第8回	5章　微分と積分（微分）	第23回	
第9回	5章　微分と積分（積分）	第24回	
第10回	試験対策②	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学A	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	新数学A(東京書籍)				
副教材	なし				

授業の概要・目的
場合の数，確率，図形の性質，整数の性質について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

到達目標
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。

履修にあたって
数学Aは数学Ⅰと比べ，計算問題が少なく図形問題など概念や原理をしっかりと理解する必要があります。数学ⅠA(数学ⅠとAのセット)として入試科目になりやすいので，受験で必要な人や数学Ⅰを興味深く学習できた人は履修ください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	1章　場合の数と確率　1節　場合の数
第2回	1章　場合の数と確率　2節　確率
第3回	2章　図形の性質　1節　平面図形の基礎　2節　三角形の性質
第4回	2章　図形の性質　3節　円の性質　4節　空間図形
第5回	3章　数学と人間の活動　1節　数や位置を表す　2節　数のつくりを調べる
第6回	3章　数学と人間の活動　3節　はかる　4節　数学で遊ぶ
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章　場合の数と確率(1)	第16回	
第2回	1章　場合の数と確率(2)	第17回	
第3回	2章　図形の性質(1)　試験対策①	第18回	
第4回	2章　図形の性質(2)	第19回	
第5回	3章　数学と人間の活動(1)	第20回	
第6回	3章　数学と人間の活動(2)　試験対策②	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 化学基礎	単位数	2　　単位	区分	選択必修
教科書	新編化学基礎（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　化学基礎（東京書籍）				

授業の概要・目的

化学基礎では、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割について学習する。
物質の構成を学び、それらが物質の性質や物質の反応にどのよう影響しているかを理解することを目指す。また、それらが人間社会とどのような関わりを持っているかを理解することを目指す。
化学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標

″化学の基礎的な知識を習得し、物質の構成や物質の変化について理解する。
物質を構成する粒子の構造とその性質が、物質の性質や物質に起こる現象に関係することを理解する。
授業で学んだことを活かし、身近な「物質の性質」についてその仕組みを説明できる。
授業で学んだことを活かし、身近な「物質に起こる現象」についてその仕組みを説明できる。″□
□
□

履修にあたって

物質は原子という小さな粒が集まってできています。
この原子の性質やふるまいを知ることで、物質の性質やふるまいをより理解できるようになるでしょう。このように化学は、これまでの世界を新たな角度から見ることのできる「化学の目」を与えてくれます。化学の目で共に世界を覗いてみましょう。（実験を行う時間もあります。）

観点別評価

知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	物質の成分と構成元素
第2回	原子の構造と元素の周期表
第3回	化学結合
第4回	物質量と化学反応式
第5回	酸と塩基
第6回	酸化還元反応
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	物質の成分	第16回	全体を通しての授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り
第2回	物質の構成元素と三態	第17回	
第3回	原子の構造	第18回	
第4回	電子配置	第19回	
第5回	周期表	第20回	
第6回	結合と結晶①	第21回	
第7回	結合と結晶②	第22回	
第8回	中間試験対策授業	第23回	
第9回	原子量、分子量、式量	第24回	
第10回	物質量	第25回	
第11回	溶液の濃度	第26回	
第12回	化学反応式と量的関係	第27回	
第13回	酸と塩基	第28回	
第14回	中和反応と塩	第29回	
第15回	酸化と還元・酸化還元反応	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 地学基礎	単位数	2　　単位	区分	選択必修
教科書	地学基礎（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　地学基礎（東京書籍）				

授業の概要・目的
地学基礎では、私たちの生活の場である自然環境に関する内容ついて学習する。 〈私たちの宇宙の進化〉〈私たちの地球の変遷と生物の進化〉〈私たちの大地〉〈私たちの空と海・地球のこれから〉 地学を学ぶことで物理的、化学的、生物的側面の理解をより深めることができる。地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、地球の自然環境と日常生活や社会とのかかわりを考えることができるようになることを目指す。地学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標
地学の基礎的な知識を習得し、地学的に探究する能力と態度が身につく。 学習した内容が日常生活や社会とかかわることを理解することで、地球や地球を取り巻く環境について関心を高める。 授業で学んだことを活かし、科学的な見方や考え方を持つことができる。

履修にあたって
地学では化学、物理を通して宇宙や地球内部の状態、気象現象の原因などを解明し、生物学などを通して生物的多様性がどのようにして発達したのかを大きな視点から捉えて行きます。実験やデジタルツールの活用を通して親しみましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス	
回	内容
第1回	私たちの大地
第2回	私たちの空と海
第3回	私たちの宇宙の誕生
第4回	私たちの地球の歴史
第5回	地球に生きる私たち
第6回	これからの地球環境
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	１編１章　大地とその動き	第16回	４編、５編の振り返り
第2回	１編２章　火山活動と地震	第17回	
第3回	第1回～第2回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第18回	
第4回	２編１章　地球の熱収支	第19回	
第5回	２編２章　大気と海水の運動	第20回	
第6回	第4回～第5回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第21回	
第7回	３編１章　宇宙の構造と進化	第22回	
第8回	１編、２編、３編の振り返り	第23回	
第9回	４編１章　地層と化石の観察	第24回	
第10回	４編２章　古生物の変遷と地球環境	第25回	
第11回	第9回～第10回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第26回	
第12回	５編１章　日本の自然の恵みと防災	第27回	
第13回	５編終１章　地球環境の考え方	第28回	
第14回	５編終２章　自然環境の変動	第29回	
第15回	５編終３章　これからの地球環境	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて情報を収集したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることによって、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語を用いてやり取りしたり、書いたりする能力を身につける。

到達目標
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたりして概要や要点をとらえたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、文章を書いて伝えることができる。

履修にあたって
○準備物 教科書・筆記用具 ○授業・レポート・テストについて ４技能〔聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと〕を授業やレポートで運用能力を高めていきましょう。テストでは、話すこと以外の練習の成果をはかっていきます。自分のペースで英語を使って自身の可能性を広げていきましょう！

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Pre-lesson　Lesson　1　A Colorful Island
第2回	Lesson 2 With the Beatles
第3回	Lesson 3 Wild Men
第4回	Lesson 4 Little Hero
第5回	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki
第6回	Reading 1 Mujina
第7回	Lesson 7 Over the Wall
第8回	Lesson 8 Inspiration from Nature
第9回	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate
第10回	Lesson 10 Fighting Angel
第11回	Reading 2 Bear's Pie
第12回	Extra Taret

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W-UP　1年間の英語学習について	第16回	Lesson 5,Reading 1 振り返りなど
第2回	Lesson 1 インプット	第17回	Lesson 7 インプット
第3回	Lesson 1 アウトプット	第18回	Lesson 7 アウトプット
第4回	Lesson 2 インプット	第19回	Lesson 8 インプット
第5回	Lesson 2 アウトプット	第20回	Lesson 8 アウトプット
第6回	Lesson 1,2 振り返り Let's listen等	第21回	Lesson 7,8 振り返り　文法のまとめ
第7回	Lesson 3 インプット	第22回	Lesson 9 インプット
第8回	Lesson 3 アウトプット	第23回	Lesson 9 アウトプット
第9回	Lesson 4 インプット	第24回	Lesson 10 インプット
第10回	Lesson 4 アウトプット	第25回	Lesson 10 アウトプット
第11回	Lesson 3,4 振り返り　Let's listen等	第26回	Reading 2 インプット
第12回	Lesson 5 インプット	第27回	Reading 2 アウトプット
第13回	Lesson 5 アウトプット	第28回	Reading 2 振り返り　まとめ
第14回	Reading 1 インプット	第29回	
第15回	Reading 1 アウトプット	第30回	

※ 時間割編成上、試験対策授業が火曜・木曜に開講となる場合があります。ご了承ください。※

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 論理・表現Ⅰ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	New Favorite Ⅰ English Logic and Expression				
副教材	なし				

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて、クラスメイトとコミュニケーションをとったりすることによって、簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝える能力を身につける。

到達目標
簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝えることができる。

履修にあたって
○準備物 教科書・ノート ○授業・レポート・テストについて 英語表現Ⅰの授業は、英語を使った表現活動（ライティング、スピーキング）が中心になります。初めから上手にできる必要は全くありませんが、表現活動に挑戦しようという姿勢が大切になります。英語で何かを表現できるようになりたい人は是非履修を検討してみてください。 レポートは、教科書の内容（読解、英文法）に加えて、授業で実施した表現活動に関する内容が出題されます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Unit 1 Lesson1 ～ Lesson 4
第2回	Unit 1 Lesson5 ～ Lesson 7
第3回	Unit 1 Lesson8 ～ Lesson10
第4回	Unit 1 Lesson11 ～ Lesson12, Unit 2 Lesson 1 ～ Lesson 2
第5回	Unit 2 Lesson 3 ～ Lesson 5
第6回	Unit 2 Lesson 6 ～ Lesson 8
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W一UP, １年間の英語学習について	第16回	テスト対策授業
第2回	Lesson 1, Lesson 2 アクティビティ①	第17回	
第3回	Lesson 3, Lesson 4 アクティビティ②-1	第18回	
第4回	Lesson 5, Lesson 6 アクティビティ②-2	第19回	
第5回	Lesson 7, Lesson 8 アクティビティ③-1	第20回	
第6回	アクティビティ③-2	第21回	
第7回	Lesson 9, Lesson 10 前期Lesson 振り返り	第22回	
第8回	テスト対策授業	第23回	
第9回	Lesson 11, Lesson 12 アクティビティ④-1	第24回	
第10回	Unit 2 Lesson 1, Lesson 2 アクティビティ④-2	第25回	
第11回	Unit 2 Lesson 3, Lesson 4 アクティビティ⑤-1	第26回	
第12回	アクティビティ⑤-2	第27回	
第13回	Unit 2 Lesson 5, Lesson 6 アクティビティ⑥-1	第28回	
第14回	アクティビティ⑥-2	第29回	
第15回	Unit 2 Lesson 7, Lesson 8 後期Lesson振り返り	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 美術Ⅱ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
創造的な諸活動や作品鑑賞を通して美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表す。また、対話型鑑賞を通じて発想や構想の独自性と表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。

到達目標
生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

履修にあたって
美術Ⅱは、美術Ⅰを履修済みの生徒が選択できる科目です。 美術Ⅰで扱った題材を更に発展させた内容となります。 美術Ⅰ同様、この授業は作品のみでの採点は行いません。 作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	デザイン　色の整理と配色
第2回	デザイン　色相と配色
第3回	デザイン　イメージをカタチに①
第4回	デザイン　イメージをカタチに②
第5回	鑑賞　絵画鑑賞
第6回	絵画　空想画
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション①	第16回	美術Ⅱまとめ
第2回	オリエンテーション②アイデアの作り方	第17回	
第3回	レポート課題取り組みのポイント①	第18回	
第4回	レポート課題取り組みのポイント②	第19回	
第5回	デザイン③ 情報編集	第20回	
第6回	デザイン④ 情報編集	第21回	
第7回	デザイン⑤ 情報編集	第22回	
第8回	デザイン⑥ 情報編集	第23回	
第9回	対話型鑑賞②	第24回	
第10回	対話型鑑賞②	第25回	
第11回	映像メディア①　動画	第26回	
第12回	映像メディア②　動画	第27回	
第13回	対話型鑑賞①	第28回	
第14回	対話型鑑賞①	第29回	
第15回	絵画　次年度に向けて	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 工芸Ⅱ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
【概要】工芸品の鑑賞を通して工芸の日常生活における役割を理解します。また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。 【目的】「工芸Ⅰ」の学習を踏まえ、工芸の伝統や文化と深く関わる能力を伸ばすことが目的です。

到達目標
・社会的な視点に立って工芸の役割を深く理解する。 ・さまざまな様式の工芸品を知る。 ・他者の意見を踏まえて工芸の新しいアイデアをつくる。

履修にあたって
・紙などを素材とする立体作品を制作します。 ・グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する１
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する２
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する３
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する４
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する５
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する６
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション１	第16回	社会と工芸４
第2回	伝統と工芸１	第17回	
第3回	伝統と工芸２	第18回	
第4回	伝統と工芸３	第19回	
第5回	生活と工芸１	第20回	
第6回	生活と工芸２	第21回	
第7回	生活と工芸３	第22回	
第8回	生活と工芸４	第23回	
第9回	新しい工芸のアイデア１	第24回	
第10回	新しい工芸のアイデア２	第25回	
第11回	新しい工芸のアイデア３	第26回	
第12回	新しい工芸のアイデア４	第27回	
第13回	社会と工芸１	第28回	
第14回	社会と工芸２	第29回	
第15回	社会と工芸３	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 体育Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	新呼応等保健体育（大修館書店）				
副教材	スポーツルール				

授業の概要・目的
スポーツを通じてモノの見方・考え方を働かせ、生涯にわたって実践できる豊かなスポーツライフを計画・実践するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 学習過程から「想像力（他者を思いやる心）」と「創造力（新しいものを生み出す力）」の育成を目指す。 高校卒業後においても自己に適した生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続していくためには、各ライフステージ（生涯の各段階）と併せてライフスタイル（生き方や暮らし方）に応じた継続の仕方を工夫する必要がある。それらの特徴や条件に応じて、無理なくスポーツを継続するための見通しをもつことが大切であることや、誰もがスポーツに親しむことのできる社会を支援するスポーツ推進の施策があることなどについて理解する。

到達目標
1. スポーツを通じて他者とコミュニケーションがとれるようになる。 2. 下記内容を説明することができる。 ・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方 ・ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方 ・スポーツ推進のための施策と諸条件 ・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会

履修にあたって
スポーツは人間のためにあるのであって、スポーツのために人間があるのではありません。 皆さんにとって、どのような工夫をすればスポーツがさらに楽しくなるでしょうか。また、生涯にわたってスポーツを関わることができるでしょうか。ともに考えていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】10回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	・体操服（運動・スポーツができる格好） ・体育館シューズ ※それぞれ指定はありません。

レポート	
回	内容
第1回	単元3 豊かなスポーツライフの設計　１生涯スポーツの見方・考え方～ライフスタイルとスポーツの楽しみ方　スポーツ種目
第2回	単元３　豊かなスポーツライフの設計　３スポーツ推進のための施策と課題～スポーツで「未来」を創る　スポーツ種目
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	生涯スポーツの見方・考え方	第16回	スポーツで「未来」を創る
第2回	体つくり運動	第17回	これまでの振り返り（実技）
第3回	バスケットボール	第18回	これまでの振り返り（座学）
第4回	バスケットボール	第19回	
第5回	バスケットボール	第20回	
第6回	バスケットボール	第21回	
第7回	バスケットボール	第22回	
第8回	バスケットボール	第23回	
第9回	ライフスタイルとスポーツの楽しみ方	第24回	
第10回	スポーツ推進のための施策と課題	第25回	
第11回	ニュースポーツ	第26回	
第12回	ニュースポーツ	第27回	
第13回	ニュースポーツ	第28回	
第14回	ニュースポーツ	第29回	
第15回	ニュースポーツ	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 情報Ⅰ	単位数	2　単位	区分	必修
教科書	情報Ⅰ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
多くの情報に囲まれた現代社会においては、必要な情報を選択し、その真偽を判断し、最適な行動を選択できる情報活用能力をはじめ、問題解決のために主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し、改善しようとする態度や創造性が必要です。 これらの力を身に付けるための知識と技術の習得を目指した座学と実習を行います。

到達目標
・自らの生活・学習において、主体的な情報活用ができる。 ・情報や情報技術の仕組み、あるいは情報の取り扱い方に関する基本的な理論や方法、仕組みを理解する。 ・情報や情報技術が果たしている役割、及ぼす影響を理解し、情報の正しい扱い方を判断できる。

履修にあたって
情報は生活を便利に、豊かにしてくれますが、そのプラス面とマイナス面を知り、適切に取り扱うための理論や知識が必要不可欠です。情報に関する知識を養い、活用していく上でのベースを学習していきましょう。

観点別評価	
知識・技能	単位認定試験の点数により評価する
思考・判断・表現	単位認定試験の点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第1章　情報で問題を解決する
第2回	第2章　情報を伝える
第3回	第3章　コンピュータを活用する
第4回	第4章　データを活用する
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	ガイダンス・座学（情報で問題を解決する）	第16回	
第2回	実習（PowerPoint）	第17回	
第3回	座学（情報で問題を解決する）	第18回	
第4回	実習（Word）	第19回	
第5回	座学（情報を伝える）	第20回	
第6回	実習（PowerPoint）	第21回	
第7回	座学（コンピュータを活用する）	第22回	
第8回	実習（Word）	第23回	
第9回	座学（データを活用する）	第24回	
第10回	実習（Excel）	第25回	
第11回	実習（Excel）	第26回	
第12回	座学（データを活用する）	第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2023年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 総合Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	必修
教科書	なし				
副教材	なし				

授業の概要・目的
実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て情報を収集し、整理分析して自分の意見を生み出す力を養う授業です。
到達目標
対話的な様々な課題に取り組む中で、探求の見方・考え方を働かせ、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を身につけることを目標とします。
履修にあたって
この授業では「コミュニケーション」をテーマとして扱っていきます。 今、コミュニケーションに対して苦手な印象を持っている人もいるかも知れませんね。 ただ、受講に際してそれは問題ありません。 様々な活動を通じて、一緒に「よりよいコミュニケーション」について考えていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】6回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	コミュニケーション（対話）について
第2回	コラボレーション（協働）について
第3回	
第4回	
第5回	
第6回	
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1時間目：哲学カフェ①	第8回	2時間目：文章表現
	2時間目：文章表現	第9回	1時間目：ディスカッション③
第2回	1時間目：コンセンサス①		2時間目：文章表現
	2時間目：文章表現	第10回	1時間目：レポートまとめ・解説
第3回	1時間目：ディスカッション①		2時間目：レポートまとめ・解説
	2時間目：文章表現		
第4回	1時間目：対話型鑑賞		
	2時間目：文章表現		
第5回	1時間目：コンセンサス②		
	2時間目：文章表現		
第6回	1時間目：哲学カフェ②		
	2時間目：文章表現		
第7回	1時間目：ディスカッション②		
	2時間目：文章表現		
第8回	1時間目：コンセンサス③		

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 国語表現	単位数	3　　単位	区分	3学年履修指定
教科書	国語表現（東京書籍）				
副教材	国語表現　ワークブック　（東京書籍）				

授業の概要・目的
実践的な国語を学んでいく。語彙力を高めながら、入学試験や入社試験で使う一般的な国語のルールを知る。
到達目標
小論文や、発表文、意見文など、社会での様々な場面で使う文章の基礎を習得する。
履修にあたって
スクーリングでは「話すこと」「聞くこと」を中心に進めていきます。授業を通してコミュニケーション力、表現する能力を高め今後の社会生活に生かして行きましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】３回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	同音異義語/調べる
第2回	同音異義語/取材する
第3回	同音異義語/紹介する
第4回	三字熟語・四字熟語/広告の表現に学ぶ①
第5回	三字熟語・四字熟語/広告の表現に学ぶ②
第6回	慣用句/古典の表現に学ぶ
第7回	四字熟語/話す
第8回	四字熟語/グラフ読み取り・発表
第9回	四字熟語/討論する
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	作文	第16回	
第2回	インタビュー	第17回	
第3回	おすすめするための文章・メモの取り方	第18回	
第4回	（前期）レポートまとめ・解説	第19回	
第5回	面接練習	第20回	
第6回	自己分析・自己紹介	第21回	
第7回	グラフ読み取り	第22回	
第8回	（後期）レポートまとめ・解説	第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 日本史B	単位数	4　　単位	区分	3学年履修指定
教科書	新選　日本史Ｂ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
現代の日本がどのように形成されているのかを学ぶことを通して，未来をつくる一人として必要な思考力や表現力の向上をめざします。過去の出来事に対して事実のみを学ぶのではなく，「なぜそのような行動をとったのか」や「なぜこのような結果になったのか」を他者との協働学習を通じて考え，歴史的な出来事や文化の中に意味を見出し，その価値を授業の中で学びます。

到達目標
日本史の基本的な知識を習得し，一つの出来事と別の出来事のかかわりを理解し，説明することができる。 過去の出来事に対して，「自分ならどうするか」や「歴史上の選択についての得失」などについて自分の意見を述べることができる。

履修にあたって
現在は過去の積み重ねの上にあり，また，歴史はいろいろな意味で繰り返されます。歴史を学ぶことは現在を知ることにつながり，将来を考える材料になります。授業では，正解が一つではない問いについて出席している友達と一緒に考え，一人ではたどりつくことができない答えにせまっていきたいと考えています。日本史を通して現在と将来の社会を考えていきましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第1章　古代国家の形成と貴族文化の誕生①
第2回	第1章　古代国家の形成と貴族文化の誕生②
第3回	第2章　武家社会の形成と生活文化のめばえ①
第4回	第2章　武家社会の形成と生活文化のめばえ② 第3章　近世社会の形成と庶民文化の展開①
第5回	第3章　近世社会の形成と庶民文化の展開②
第6回	第3章　近世社会の形成と庶民文化の展開③
第7回	第3章　近世社会の形成と庶民文化の展開④
第8回	第4章　近代国家の形成と国民文化の発展①
第9回	第4章　近代国家の形成と国民文化の発展②
第10回	第4章　近代国家の形成と国民文化の発展③
第11回	第5章　現代の世界と日本①
第12回	第5章　現代の世界と日本②

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第1章　古代国家の形成と貴族文化の誕生①	第16回	
第2回	第1章　古代国家の形成と貴族文化の誕生②	第17回	
第3回	第2章　武家社会の形成と生活文化のめばえ	第18回	
第4回	第3章　近世社会の形成と庶民文化の展開	第19回	
第5回	第1～4回授業の振り返り	第20回	
第6回	第4章　近代国家の形成と国民文化の発展①	第21回	
第7回	第4章　近代国家の形成と国民文化の発展②	第22回	
第8回	第4章　近代国家の形成と国民文化の発展③	第23回	
第9回	第5章　現代の世界と日本	第24回	
第10回	第6～9回授業の振り返り	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 古典探究	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	『新編 古典探究』（東京書籍）				
副教材	『新編 古典探究　学習課題ノート』（東京書籍）				

授業の概要・目的
伝統的な言語文化に対する関心と理解を深めるための授業です。論理的に考える力や共感したり想像したりする力を育成することを目的としています。 また、伝統的な言語文化を通して、現在の「国語」の理解を深めることを目指します。

到達目標
・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。 ・思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育む。 ・古典を通して現在の「国語」の理解を深め、客観的な視点を持つ。

履修にあたって
古典探究では、２年次の言語文化の内容からさらに上を目指していきます。授業で取り上げる作品はもちろんのこと、授業外・教科書外の作品にも挑戦できるように、基礎的な知識を身につけるための課題を用意します。大学受験で古典が必要な人、古典作品に深く触れたい人におすすめです。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	【古文】『宇治拾遺物語』
第2回	【古文】『十訓抄』
第3回	【古文】『竹取物語』
第4回	【漢文】『戦国策』「蛇足」
第5回	【漢文】『五雑組』「畏饅頭」
第6回	【古文】『小倉百人一首』
第7回	【古文】『徒然草』
第8回	文学史
第9回	【古文】『土佐日記』
第10回	【古文】『源氏物語』「光源氏の誕生」
第11回	【古文】『源氏物語』「若紫」
第12回	【漢文】『史記』

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	『宇治拾遺物語』	第16回	
第2回	『十訓抄』	第17回	
第3回	『竹取物語』	第18回	
第4回	『五雑組』「畏饅頭」	第19回	
第5回	試験対策	第20回	
第6回	『土佐日記』	第21回	
第7回	『源氏物語』「光源氏の誕生」	第22回	
第8回	『源氏物語』「若紫」	第23回	
第9回	『史記』	第24回	
第10回	試験対策	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 政治・経済	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	政治・経済（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
「政治・経済」の学習は、基本的には「公共」の延長線上にあります。ただし、大きく異なるのは、「政治・経済」では日本や世界の政治や経済について俯瞰的に学習するという点です。日本の政治のしくみはどうなっているか、日本経済が成長するには何が必要かなどの課題を具体的に追究していくなかで、政治や経済に関する知識・概念や「視点や方法」を身につけていきます。そのうえで、自分自身に立ち返り、よりよい社会を形成するために自分にできることを構想し、実践していきます。

到達目標
1 社会の在り方に関わる諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけます。 2 社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や，政治・経済に関する理論などを活用し，社会に見られる課題を把握し説明するとともに，身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や，構想したことの実現可能性などを議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養います。 3 よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して養われる，国民主権を担う公民として，平和と繁栄を図ることや，日本および国際社会において国家および社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めます。

履修にあたって
「公共」で身につけた「視点や方法」を活かしつつ、政治・経済に対するより深い理解の下、より実践的な解決策を探究していくのが、「政治・経済」の特徴です。「政治・経済」を学習する上では、当然、「公共」で学習した知識・概念や「視点や方法」が学習の基盤として重要になってきます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	第1編　現代日本の政治と経済　第1章　現代日本の政治 2節　日本国憲法の基本原理
第2回	第2章　現代日本の経済　1節　現代の資本主義経済
第3回	4節　福祉社会と日本経済の課題
第4回	第2編　グローバル化する国際社会　第1章　現代の国際政治 1節　国際政治のしくみ
第5回	2節　複雑化する国際政治と日本
第6回	第2章　現代の国際経済　2節　世界経済の現状と課題
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第1編 第1章 現代日本の政治①	第16回	
第2回	第1章 現代日本の経済①	第17回	
第3回	第1・2回授業振り返り	第18回	
第4回	第2編　第1章　現代の国際政治①	第19回	
第5回	第2章 現代の国際経済①	第20回	
第6回	第4・5回授業振り返り	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 化学	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	化学Vol.1理論編　化学Vol.2物質編				
副教材					

授業の概要・目的
化学では物質の性質・構造・反応について詳しく学習する。また、化学の知識を活かして物質を利用したり目的にかなった物質をつくり出すなどこれまで人類が積み上げてきた化学の実績についても学習する。物質に関する原理・法則について学び、それらと身の回りにある物質の具体的なふるまいを結び付けて理解することができるようになることを目指す。 化学の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標
自然界は物質によってできており、その物質は原子によってできていることを理解する。 物質の性質・構造・反応を原子や分子のレベルで捉えることができる。 授業で学んだことを活かし、物質に関する原理や法則を身の回りの具体的なふるまいと結び付けて説明することができる。

履修にあたって
化学は「物質の性質、構造、反応を研究する学問」です。 化学では、「反応の原因となる性質、その性質を決定づけている構造、その構造が生まれる原理」のように物事の最も深い原理や法則に迫っていく学問です。これまで人類が積み上げてきた発見の数々を共に学んでいきましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	

レポート	
回	内容
第1回	化学反応式と物質量（復習）
第2回	物質の三態・気体の性質
第3回	理想気体の状態方程式・混合気体・溶液
第4回	蒸気圧降下・沸点上昇・凝固点降下・浸透圧・コロイド
第5回	結晶の種類・金属結晶の構造
第6回	熱化学方程式・結合エネルギー
第7回	電池・電気分解
第8回	反応速度と活性化エネルギー・化学平衡とルシャトリエの原理・電離平衡と溶解平衡
第9回	周期表と希ガス・ハロゲン・酸素・硫黄
第10回	窒素・リン・炭素・ケイ素・アルカリ（土類）金属・典型元素・遷移元素
第11回	有機化合物
第12回	高分子化合物

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	化学反応式（復習）	第16回	化学平衡とルシャトリエの原理
第2回	物質量計算（復習）	第17回	電離平衡と溶解平衡
第3回	物質の三態	第18回	周期表と希ガス
第4回	気体の性質	第19回	ハロゲン・酸素・硫黄
第5回	理想気体の状態方程式	第20回	窒素・リン・炭素・ケイ素
第6回	溶液	第21回	アルカリ（土類）金属・典型元素・遷移元素
第7回	蒸気圧降下・沸点上昇・凝固点降下	第22回	有機化合物
第8回	浸透圧・コロイド	第23回	高分子化合物
第9回	結晶の種類・金属結晶の構造	第24回	単位認定試験対策授業
第10回	熱化学方程式・結合エネルギー	第25回	
第11回	電池	第26回	
第12回	電気分解	第27回	
第13回	第１回～第１２回に関わる実験及び解説など	第28回	
第14回	中間試験対策授業	第29回	
第15回	反応速度と活性化エネルギー	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 生物	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	生物（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　生物（東京書籍）				

授業の概要・目的
「生物基礎」からの発展的な内容にも触れ、より深く生物や生命現象について学んでいきます。生物の共通性と多様性がどのようにして生まれたのかを知り、私たちやその他の生物の存在と多様なあり方を認めていきます。世界がちょっと面白くなるような生物の特徴を学んでいきます。 生物について学ぶことで、生物の一員である我々ヒトについての理解を深める。「細胞」「組織」「個体」「生態系」という階層性を意識して学ぶことで、生物学を大小様々な視野で捉えることができるようになることを目指す。 生物の学習の過程で、新たな知識を獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標
生物学の基礎的な知識を習得し、生物の共通性と多様性を理解する。 生物基礎をさらに深めた内容でしくみを知り、自分を知ることで命の大切さを理解する。 授業で学んだことを活かし、分子から進化の歴史まで、大小や時間軸の視点で生物学を捉えることができる。 授業で学んだことを活かし、「生物とは何か」について、自分なりの考えを持つことができる。

履修にあたって
生物とそれを取り巻く環境を学ぶことで、生物とは何か、動物とは何か、ヒトとは何かを考えてゆきます。それぞれの多様な生き方を理解すると、自分とは何者なのか次第に見えてくることでしょう。世界はこんなに多様で面白い。そんな実感がわくわくとともに湧いてくる学びにしたいと考えています。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス	
回	内容
第1回	生命現象と物質　第１章～２章
第2回	生命現象と物質　第３章
第3回	遺伝子のはたらき　第１章～２章
第4回	遺伝子のはたらき　第３章～４章
第5回	生殖と発生　第１章～２章
第6回	生殖と発生　第３章～４章
第7回	生物の環境応答　第１章～２章
第8回	生物の環境応答　第３章
第9回	生態と環境　第１章～２章
第10回	生態と環境　第３章～４章
第11回	生物の進化と系統　第１章～２章
第12回	生物の進化と系統　第３章

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	第１編　生体物質と細胞	第16回	第13回～第15回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第2回	第１編　生命現象を支えるタンパク質	第17回	第５編　生物の多様性と生態学～個体群と生物群集
第3回	第１編　代謝とエネルギー	第18回	第５編　生態系の物質生産とエネルギーの流れ
第4回	第1回～第3回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第19回	第５編　生態系と生物多様性
第5回	第２編　DNAの構造と複製	第20回	第17回～第19回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第6回	第２編　遺伝情報の発現～遺伝子の発現調節	第21回	第６編　生命の起源と生物の変遷
第7回	第２編　バイオテクノロジー	第22回	第６編　進化のしくみ
第8回	第5回～第7回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第23回	第６編　生物の系統
第9回	第３編　多様な個体が生じる有性生殖	第24回	第21回～第23回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り
第10回	第３編　動物の発生	第25回	
第11回	第３編　動物の発生の仕組み	第26回	
第12回	第9回～第11回の授業内容について 問題作成や探求を通しての振り返り	第27回	
第13回	第３編　植物の発生	第28回	
第14回	第４編　動物の刺激の受容と反応～動物の行動	第29回	
第15回	第４編　植物の環境応答	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ	単位数	4　単位	区分	選択
教科書	All Aboard! English Communication Ⅲ				
副教材					

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて、情報を収集したりクラスメイトとコミュニケーションをとったりすることによって、多様なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語でやりとりをしたり、発表したり、書いたりする能力を身につける。

到達目標
教科書の内容をもとに、クラスメイトとコミュニケーションを取りながら、多様なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語でやりとりをしたり、発表したり、書いたりする能力を身につける。

履修にあたって
多様なトピックに英語で触れることで、社会について学び、コミュニケーションを深め、自らの考えや英語の思考を養っていく積極性を求めます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Lesson 1 Gifts to Barcelona
第2回	Lesson 2 Akkamui
第3回	Lesson 3 Your True Color
第4回	Lesson 4 Our Future Food?
第5回	Lesson 5 Madagascar
第6回	Reading 1 The Fun They Had
第7回	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors
第8回	Lesson 7 Green Challenges
第9回	Lesson 8 Witnesses of War
第10回	Lesson 9 The Wonders of Lightning
第11回	Lesson 10 Katherine's Long Journey
第12回	Reading 2 Table for Two

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	建築物の紹介の概要を読み取る（L.1）	第16回	図表を読んで情報を正確に読み取ることができる（L.7）
第2回	建築物の紹介の概要を聞き取る（L.1）	第17回	路面電車の果たした役割について情報を読み取る（L.8）
第3回	エゾモモンガの紹介の概要を読み取る（L.2）	第18回	人や物について説明を読み取り、表現を用いて発表する（L.8）
第4回	エゾモモンガの紹介の概要を聞き取る（L.2）	第19回	雷に関する情報や対処法について情報を正確に読み取ることができる（L.9）
第5回	伝統衣装やファッションに関する説明を読み取る（L.3）	第20回	雷と地球温暖化の関係についての詳細をまとめる（L.9）
第6回	伝統衣装やファッションに関する説明を聞き取る（L.3）	第21回	キャサリンの業績とアメリカにある差別について情報を正確に読み取ることができる（L.10）
第7回	昆虫食について情報を読み取る（L.4）	第22回	キャサリンの業績とアメリカにある差別についての詳細をまとめる（L.10）
第8回	昆虫食について説明を読み取り、表現を用いて発表する（L.4）	第23回	内容についてまとめる（L.10）
第9回	昆虫食について説明を読み取り、表現を用いて発表する（L.4）	第24回	物語を読んで情報を整理する（Reading 1）
第10回	マダガスカルの自然と現状の課題について要点を読み取る（L.5）	第25回	物語を読んで情報を聞き取る（Reading 1）
第11回	マダガスカルの自然と現状の課題について適切な表現を用いて話す（L.5）	第26回	物語を読んで情報を整理する（Reading 2）
第12回	自然環境との共生について考える（L.5）	第27回	物語を読んで情報を聞き取る（Reading ２）
第13回	兵馬俑の謎について概要や要点を読み取る（L.6）	第28回	一年間の振り返り
第14回	兵馬俑の謎について詳細を読み取り、史跡について情報を整理する（L.6）	第29回	
第15回	エネルギー問題とデンマークについて概要や要点を正確に読み取ることができる（L.7）	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 美術Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	高校生の美術3（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
創造的な諸活動や作品鑑賞を通して美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。 制作や鑑賞を通じて自己と社会を深く見つめ、これまでの創造活動を発展させ、創造的な表現を追求する。また、対話型鑑賞を通じて発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める。

到達目標
生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

履修にあたって
美術Ⅲは、美術Ⅱを履修済みの生徒が選択できる科目です。 美術Ⅱで扱った題材を更に発展させた内容となります。 美術Ⅱ同様、この授業は作品のみでの採点は行いません。 作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	デザイン　言葉とビジュアル
第2回	絵画　細密画
第3回	デザイン　色の整理と配色
第4回	絵画　空想画
第5回	デザイン　イメージをカタチに
第6回	絵画　鉛筆デッサン
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション①	第16回	1年間のまとめ②
第2回	オリエンテーション②	第17回	
第3回	対話型鑑賞①	第18回	
第4回	対話型鑑賞②	第19回	
第5回	デザイン①　観察とアイデア	第20回	
第6回	デザイン②　観察とアイデア	第21回	
第7回	デザイン③　企画とプレゼンテーション	第22回	
第8回	デザイン④　企画とプレゼンテーション	第23回	
第9回	デザイン⑤　企画とプレゼンテーション	第24回	
第10回	デザイン⑥　企画とプレゼンテーション	第25回	
第11回	デザイン⑦　企画とプレゼンテーション	第26回	
第12回	デザイン⑧　企画とプレゼンテーション	第27回	
第13回	デザイン⑨　企画とプレゼンテーション	第28回	
第14回	デザイン⑩　企画とプレゼンテーション	第29回	
第15回	1年間のまとめ①	第30回	

2023年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 工芸Ⅲ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
【概要】発展的な鑑賞や対話、制作活動など、工芸の創造的な諸活動に取り組み、感性と美意識を磨きます。また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。 【目的】美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な工芸やその伝統や文化と深く関わる資質・能力を身につけることが目標です。

到達目標
・これからの時代における工芸のあり方についての考えを発表する。 ・他者の意見を踏まえて工芸の新しいアイデアをつくる。 ・造形や色彩の知識を活かして発展的な立体作品を制作する。

履修にあたって
・紙などを素材とする立体作品を制作します。 ・グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する１
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する２
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する３
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する４
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する５
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する６
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション１	第16回	美意識と工芸４
第2回	地域と工芸１	第17回	
第3回	地域と工芸２	第18回	
第4回	地域と工芸３	第19回	
第5回	多様な社会における工芸１	第20回	
第6回	多様な社会における工芸２	第21回	
第7回	多様な社会における工芸３	第22回	
第8回	多様な社会における工芸４	第23回	
第9回	新しい工芸のアイデア１	第24回	
第10回	新しい工芸のアイデア２	第25回	
第11回	新しい工芸のアイデア３	第26回	
第12回	新しい工芸のアイデア４	第27回	
第13回	美意識と工芸１	第28回	
第14回	美意識と工芸２	第29回	
第15回	美意識と工芸３	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学Ⅱ	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	新数学Ⅱ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数・対数，微分・積分について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

到達目標
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。

履修にあたって
理系学部や国公立大学文系学部志望の人は受験科目として必要になります。この科目は計算問題が中心で，数学Ⅰをより発展させた科目になります。数学に興味があり，複雑な計算問題を解いてみたい人はぜひ履修してください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】4回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	1章　方程式・式と証明　1節　式の計算　3節　高次方程式
第2回	1章　方程式・式と証明　2節　2次方程式　4節　式と証明
第3回	2章　図形と方程式　　1節　座標と直線の方程式
第4回	2章　図形と方程式　　2節　円の方程式　3節　軌跡と領域
第5回	3章　三角関数　1節　三角関数
第6回	3章　三角関数　2節　加法定理
第7回	4章　指数関数と対数関数　1節　指数関数
第8回	4章　指数関数と対数関数　2節　対数関数
第9回	5章　微分と積分　1節　微分係数と導関数
第10回	5章　微分と積分　2節　導関数の応用
第11回	5章　微分と積分　3節　積分(1)
第12回	5章　微分と積分　3節　積分(2)

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章　方程式・式と証明	第16回	
第2回	2章　図形と方程式	第17回	
第3回	3章　三角関数	第18回	
第4回	3章　三角関数（加法定理）	第19回	
第5回	試験対策①	第20回	
第6回	4章　指数関数と対数関数（指数）	第21回	
第7回	4章　指数関数と対数関数（対数）	第22回	
第8回	5章　微分と積分（微分）	第23回	
第9回	5章　微分と積分（積分）	第24回	
第10回	試験対策②	第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 数学A	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	新数学A(東京書籍)				
副教材	なし				

授業の概要・目的
場合の数，確率，図形の性質，整数の性質について基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

到達目標
数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばす。

履修にあたって
数学Aは数学Ⅰと比べ，計算問題が少なく図形問題など概念や原理をしっかりと理解する必要があります。数学ⅠA(数学ⅠとAのセット)として入試科目になりやすいので，受験で必要な人や数学Ⅰを興味深く学習できた人は履修ください。また積極的に授業に参加し，まずはレポートの問題の理解に努めて下さい。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】2回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	1章　場合の数と確率　1節　場合の数
第2回	1章　場合の数と確率　2節　確率
第3回	2章　図形の性質　1節　平面図形の基礎　2節　三角形の性質
第4回	2章　図形の性質　3節　円の性質　4節　空間図形
第5回	3章　数学と人間の活動　1節　数や位置を表す　2節　数のつくりを調べる
第6回	3章　数学と人間の活動　3節　はかる　4節　数学で遊ぶ
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	1章　場合の数と確率(1)	第16回	
第2回	1章　場合の数と確率(2)	第17回	
第3回	2章　図形の性質(1)　試験対策①	第18回	
第4回	2章　図形の性質(2)	第19回	
第5回	3章　数学と人間の活動(1)	第20回	
第6回	3章　数学と人間の活動(2)　試験対策②	第21回	
第7回		第22回	
第8回		第23回	
第9回		第24回	
第10回		第25回	
第11回		第26回	
第12回		第27回	
第13回		第28回	
第14回		第29回	
第15回		第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 化学基礎	単位数	2　　単位	区分	選択必修
教科書	新編化学基礎（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　化学基礎（東京書籍）				

授業の概要・目的

化学基礎では、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割について学習する。
物質の構成を学び、それらが物質の性質や物質の反応にどのよう影響しているかを理解することを目指す。また、それらが人間社会とどのような関わりを持っているかを理解することを目指す。
化学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標

″化学の基礎的な知識を習得し、物質の構成や物質の変化について理解する。
物質を構成する粒子の構造とその性質が、物質の性質や物質に起こる現象に関係することを理解する。
授業で学んだことを活かし、身近な「物質の性質」についてその仕組みを説明できる。
授業で学んだことを活かし、身近な「物質に起こる現象」についてその仕組みを説明できる。″□
□
□

履修にあたって

物質は原子という小さな粒が集まってできています。
この原子の性質やふるまいを知ることで、物質の性質やふるまいをより理解できるようになるでしょう。このように化学は、これまでの世界を新たな角度から見ることのできる「化学の目」を与えてくれます。化学の目で共に世界を覗いてみましょう。（実験を行う時間もあります。）

観点別評価

知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	物質の成分と構成元素
第2回	原子の構造と元素の周期表
第3回	化学結合
第4回	物質量と化学反応式
第5回	酸と塩基
第6回	酸化還元反応
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	物質の成分	第16回	全体を通しての授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り
第2回	物質の構成元素と三態	第17回	
第3回	原子の構造	第18回	
第4回	電子配置	第19回	
第5回	周期表	第20回	
第6回	結合と結晶①	第21回	
第7回	結合と結晶②	第22回	
第8回	中間試験対策授業	第23回	
第9回	原子量、分子量、式量	第24回	
第10回	物質量	第25回	
第11回	溶液の濃度	第26回	
第12回	化学反応式と量的関係	第27回	
第13回	酸と塩基	第28回	
第14回	中和反応と塩	第29回	
第15回	酸化と還元・酸化還元反応	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 地学基礎	単位数	2　　単位	区分	選択必修
教科書	地学基礎（東京書籍）				
副教材	ニューステップアップ　地学基礎（東京書籍）				

授業の概要・目的
地学基礎では、私たちの生活の場である自然環境に関する内容ついて学習する。 〈私たちの宇宙の進化〉〈私たちの地球の変遷と生物の進化〉〈私たちの大地〉〈私たちの空と海・地球のこれから〉 地学を学ぶことで物理的、化学的、生物的側面の理解をより深めることができる。地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、地球の自然環境と日常生活や社会とのかかわりを考えることができるようになることを目指す。地学基礎の学習の過程で、新たな知識を自分たちで獲得することや他者との協同を通して、「創造力」と「人間力」の育成を目指す。

到達目標
地学の基礎的な知識を習得し、地学的に探究する能力と態度が身につく。 学習した内容が日常生活や社会とかかわることを理解することで、地球や地球を取り巻く環境について関心を高める。 授業で学んだことを活かし、科学的な見方や考え方を持つことができる。

履修にあたって
地学では化学、物理を通して宇宙や地球内部の状態、気象現象の原因などを解明し、生物学などを通して生物的多様性がどのようにして発達したのかを大きな視点から捉えて行きます。実験やデジタルツールの活用を通して親しみましょう。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス	
回	内容
第1回	私たちの大地
第2回	私たちの空と海
第3回	私たちの宇宙の誕生
第4回	私たちの地球の歴史
第5回	地球に生きる私たち
第6回	これからの地球環境
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	１編１章　大地とその動き	第16回	４編、５編の振り返り
第2回	１編２章　火山活動と地震	第17回	
第3回	第1回～第2回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第18回	
第4回	２編１章　地球の熱収支	第19回	
第5回	２編２章　大気と海水の運動	第20回	
第6回	第4回～第5回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第21回	
第7回	３編１章　宇宙の構造と進化	第22回	
第8回	１編、２編、３編の振り返り	第23回	
第9回	４編１章　地層と化石の観察	第24回	
第10回	４編２章　古生物の変遷と地球環境	第25回	
第11回	第9回～第10回の授業内容について 問題作成や問題演習を通しての振り返り	第26回	
第12回	５編１章　日本の自然の恵みと防災	第27回	
第13回	５編終１章　地球環境の考え方	第28回	
第14回	５編終２章　自然環境の変動	第29回	
第15回	５編終３章　これからの地球環境	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	単位数	4　　単位	区分	選択
教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて情報を収集したり、クラスメイトとコミュニケーションをとることによって、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたり、英語を用いてやり取りしたり、書いたりする能力を身につける。

到達目標
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多彩なトピックに関する英文を読んだり、聞いたりして概要や要点をとらえたり、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、文章を書いて伝えることができる。

履修にあたって
○準備物 教科書・筆記用具 ○授業・レポート・テストについて ４技能〔聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り・発表）、書くこと〕を授業やレポートで運用能力を高めていきましょう。テストでは、話すこと以外の練習の成果をはかっていきます。自分のペースで英語を使って自身の可能性を広げていきましょう！

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】16回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Pre-lesson　Lesson　1　A Colorful Island
第2回	Lesson 2 With the Beatles
第3回	Lesson 3 Wild Men
第4回	Lesson 4 Little Hero
第5回	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki
第6回	Reading 1 Mujina
第7回	Lesson 7 Over the Wall
第8回	Lesson 8 Inspiration from Nature
第9回	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate
第10回	Lesson 10 Fighting Angel
第11回	Reading 2 Bear's Pie
第12回	Extra Taret

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W-UP　1年間の英語学習について	第16回	Lesson 5,Reading 1 振り返りなど
第2回	Lesson 1 インプット	第17回	Lesson 7 インプット
第3回	Lesson 1 アウトプット	第18回	Lesson 7 アウトプット
第4回	Lesson 2 インプット	第19回	Lesson 8 インプット
第5回	Lesson 2 アウトプット	第20回	Lesson 8 アウトプット
第6回	Lesson 1,2 振り返り Let's listen等	第21回	Lesson 7,8 振り返り　文法のまとめ
第7回	Lesson 3 インプット	第22回	Lesson 9 インプット
第8回	Lesson 3 アウトプット	第23回	Lesson 9 アウトプット
第9回	Lesson 4 インプット	第24回	Lesson 10 インプット
第10回	Lesson 4 アウトプット	第25回	Lesson 10 アウトプット
第11回	Lesson 3,4 振り返り　Let's listen等	第26回	Reading 2 インプット
第12回	Lesson 5 インプット	第27回	Reading 2 アウトプット
第13回	Lesson 5 アウトプット	第28回	Reading 2 振り返り　まとめ
第14回	Reading 1 インプット	第29回	
第15回	Reading 1 アウトプット	第30回	

※ 時間割編成上、試験対策授業が火曜・木曜に開講となる場合があります。ご了承ください。※

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 論理・表現Ⅰ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	New Favorite Ⅰ English Logic and Expression				
副教材	なし				

授業の概要・目的
教科書の内容をもとに、英語を通じて、クラスメイトとコミュニケーションをとったりすることによって、簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝える能力を身につける。

到達目標
簡単な情報や考えを多様な観点から考察したり、論理の展開や表現の仕方を工夫しながら伝えることができる。

履修にあたって
○準備物 教科書・ノート ○授業・レポート・テストについて 英語表現Ⅰの授業は、英語を使った表現活動（ライティング、スピーキング）が中心になります。初めから上手にできる必要は全くありませんが、表現活動に挑戦しようという姿勢が大切になります。英語で何かを表現できるようになりたい人は是非履修を検討してみてください。 レポートは、教科書の内容（読解、英文法）に加えて、授業で実施した表現活動に関する内容が出題されます。

観点別評価	
知識・技能	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
思考・判断・表現	中間試験と単位認定試験の平均点により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】中間試験と単位認定試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	Unit 1 Lesson1 ～ Lesson 4
第2回	Unit 1 Lesson5 ～ Lesson 7
第3回	Unit 1 Lesson8 ～ Lesson10
第4回	Unit 1 Lesson11 ～ Lesson12, Unit 2 Lesson 1 ～ Lesson 2
第5回	Unit 2 Lesson 3 ～ Lesson 5
第6回	Unit 2 Lesson 6 ～ Lesson 8
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	W一UP, １年間の英語学習について	第16回	テスト対策授業
第2回	Lesson 1, Lesson 2 アクティビティ①	第17回	
第3回	Lesson 3, Lesson 4 アクティビティ②-1	第18回	
第4回	Lesson 5, Lesson 6 アクティビティ②-2	第19回	
第5回	Lesson 7, Lesson 8 アクティビティ③-1	第20回	
第6回	アクティビティ③-2	第21回	
第7回	Lesson 9, Lesson 10 前期Lesson 振り返り	第22回	
第8回	テスト対策授業	第23回	
第9回	Lesson 11, Lesson 12 アクティビティ④-1	第24回	
第10回	Unit 2 Lesson 1, Lesson 2 アクティビティ④-2	第25回	
第11回	Unit 2 Lesson 3, Lesson 4 アクティビティ⑤-1	第26回	
第12回	アクティビティ⑤-2	第27回	
第13回	Unit 2 Lesson 5, Lesson 6 アクティビティ⑥-1	第28回	
第14回	アクティビティ⑥-2	第29回	
第15回	Unit 2 Lesson 7, Lesson 8 後期Lesson振り返り	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 美術Ⅱ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
創造的な諸活動や作品鑑賞を通して美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表す。また、対話型鑑賞を通じて発想や構想の独自性と表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。

到達目標
生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

履修にあたって
美術Ⅱは、美術Ⅰを履修済みの生徒が選択できる科目です。 美術Ⅰで扱った題材を更に発展させた内容となります。 美術Ⅰ同様、この授業は作品のみでの採点は行いません。 作品の発想やその表現に至る過程も含めて評価していきます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポ―トの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポ―トの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	デザイン　色の整理と配色
第2回	デザイン　色相と配色
第3回	デザイン　イメージをカタチに①
第4回	デザイン　イメージをカタチに②
第5回	鑑賞　絵画鑑賞
第6回	絵画　空想画
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション①	第16回	美術Ⅱまとめ
第2回	オリエンテーション②アイデアの作り方	第17回	
第3回	レポート課題取り組みのポイント①	第18回	
第4回	レポート課題取り組みのポイント②	第19回	
第5回	デザイン③ 情報編集	第20回	
第6回	デザイン④ 情報編集	第21回	
第7回	デザイン⑤ 情報編集	第22回	
第8回	デザイン⑥ 情報編集	第23回	
第9回	対話型鑑賞②	第24回	
第10回	対話型鑑賞②	第25回	
第11回	映像メディア①　動画	第26回	
第12回	映像メディア②　動画	第27回	
第13回	対話型鑑賞①	第28回	
第14回	対話型鑑賞①	第29回	
第15回	絵画　次年度に向けて	第30回	

2024年度　京都芸術大学附属高等学校　シラバス

科目	普通科目 工芸Ⅱ	単位数	2　　単位	区分	選択
教科書	工芸Ⅱ（日本文教出版）				
副教材	なし				

授業の概要・目的
【概要】工芸品の鑑賞を通して工芸の日常生活における役割を理解します。また、模型や立体作品の制作やグループワークを通して造形や色彩についての理解を深める対話的な授業で、思考力・表現力を身につける授業です。 【目的】「工芸Ⅰ」の学習を踏まえ、工芸の伝統や文化と深く関わる能力を伸ばすことが目的です。

到達目標
・社会的な視点に立って工芸の役割を深く理解する。 ・さまざまな様式の工芸品を知る。 ・他者の意見を踏まえて工芸の新しいアイデアをつくる。

履修にあたって
・紙などを素材とする立体作品を制作します。 ・グループワーク形式で対話を深めながら課題に取り組みます。

観点別評価	
知識・技能	最終レポートの点数により評価する
思考・判断・表現	最終レポートの点数により評価する
主体的に学習に取り組む態度	レポートの提出状況とスクーリングの出席率により評価する

単位認定の基準	材料費・実習費用等について
【レポート】全て提出し合格すること 【スクーリング】8回以上出席すること 【テスト】最終レポート試験を受験し、合格すること	なし

レポート	
回	内容
第1回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する１
第2回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する２
第3回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する３
第4回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する４
第5回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する５
第6回	テーマに沿って工芸の造形や色などを考え表現する６
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	

スクーリング内容（授業計画）			
第1回	オリエンテーション１	第16回	社会と工芸４
第2回	伝統と工芸１	第17回	
第3回	伝統と工芸２	第18回	
第4回	伝統と工芸３	第19回	
第5回	生活と工芸１	第20回	
第6回	生活と工芸２	第21回	
第7回	生活と工芸３	第22回	
第8回	生活と工芸４	第23回	
第9回	新しい工芸のアイデア１	第24回	
第10回	新しい工芸のアイデア２	第25回	
第11回	新しい工芸のアイデア３	第26回	
第12回	新しい工芸のアイデア４	第27回	
第13回	社会と工芸１	第28回	
第14回	社会と工芸２	第29回	
第15回	社会と工芸３	第30回	